

FUJITSU Software Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.4

A decorative horizontal band with a red-to-dark-red gradient, featuring abstract white and light red curved lines and lens flare effects.

クラスタ作成／拡張機能 設定値一覧

CA92344-2703-03
2019年5月

まえがき

本書の目的

本書では、サーバ、ストレージ、スイッチなどのICT機器からファシリティ機器(PDUなど)までを統合的に管理、運用する運用管理ソフトウェアであるFUJITSU Software Infrastructure Manager (以降、「ISM」と表記)に仮想基盤向け拡張機能を追加した、FUJITSU Software Infrastructure Manager for PRIMEFLEX (以降、「ISM for PRIMEFLEX」と表記)の各機能で設定するパラメーターについて説明します。

製品マニュアル

マニュアル名称	説明
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.4 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.4 入門書	本製品を初めて使用する利用者向けのマニュアルです。本製品の製品体系/ライセンス、利用手順の概要について説明しています。 マニュアル内では、『入門書』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.4 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.4 解説書	本製品の機能、導入手順、操作方法を説明したマニュアルです。本製品の全機能、全操作を把握できます。 マニュアル内では、『解説書』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.4 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.4 操作手順書	本製品の導入手順、利用シーンに応じた操作手順を説明したマニュアルです。 マニュアル内では、『操作手順書』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.4 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.4 REST API リファレンスマニュアル	お客様が作成したアプリケーションと本製品を連携する際に必要なAPIの使用法、サンプル、パラメーター情報などを説明したマニュアルです。 マニュアル内では、『REST API リファレンスマニュアル』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.4 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.4 メッセージ集	ISMおよびISM for PRIMEFLEX使用時に出力される各種メッセージの説明と、そのメッセージに対しての対処方法について説明しています。 マニュアル内では、『ISM メッセージ集』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.4 メッセージ集	ISM for PRIMEFLEX使用時に出力される各種メッセージの説明と、そのメッセージに対しての対処方法について説明しています。 マニュアル内では、『ISM for PRIMEFLEX メッセージ集』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.4 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.4 プロファイル管理機能プロファイル設定項目集	管理対象機器のプロファイル作成の設定を行う際に選択する項目の詳細情報について説明しています。 マニュアル内では、『プロファイル管理機能プロファイル設定項目集』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.4 クラスタ作成/拡張機能 設定値一覧	ISM for PRIMEFLEXで利用できるクラスタ作成機能、クラスタ拡張機能の自動設定内容や各機能で使用されるクラスタ定義パラメーターについて説明しています。 マニュアル内では、『ISM for PRIMEFLEX 設定値一覧』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.4 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.4 用語集	本製品を使用するうえで理解が必要な用語の定義を説明した用語集です。 マニュアル内では、『用語集』と表記します。
FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.4 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.4	Infrastructure Manager Plug-inの以下の機能について、インストールから利用方法までと注意事項や参考情報を説明します。

マニュアル名称	説明
Plug-in and Management Pack セットアップガイド	Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft System Center Operations Manager Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft System Center Virtual Machine Manager Infrastructure Manager Plug-in for VMware vCenter Server Infrastructure Manager Plug-in for VMware vCenter Server Appliance Infrastructure Manager Management Pack for VMware vRealize Operations Infrastructure Manager Plug-in for VMware vRealize Orchestrator マニュアル内では、『ISM Plug-in/MP セットアップガイド』と表記します。

上記マニュアルと併せて、ISMに関する最新情報については、当社の本製品Webサイトを参照してください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serveviewism/>

管理対象の各ハードウェアについては、各ハードウェアのマニュアルを参照してください。

PRIMERGYの場合は、「ServerView Suite ServerBooks」、またはPRIMERGYマニュアルページを参照してください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/>

本書の読者

このマニュアルは、サーバやストレージなどのICT機器の統合的な管理・運用を検討される方で、かつ、ハードウェア、オペレーティングシステムおよびソフトウェアについて基礎的な知識を持つ方を対象とします。

本書の表記について

表記

キーボード

印字されない文字のキーストロークは、[Enter]や[F1]などのキーアイコンで表示されます。例えば、[Enter]はEnterというラベルの付いたキーを押すことを意味し、[Ctrl]+[B]は、CtrlまたはControlというラベルの付いたキーを押しながら[B]キーを押すことを意味します。

記号

特に注意すべき事項の前には、以下の記号が付いています。

ポイント

ポイントとなる内容について説明します。

注意

注意する項目について説明します。

変数: <xxx>

お使いの環境に応じた数値/文字列に置き換える必要のある変数を表します。

例: <IPアドレス>

略称

本書では、以下のとおり略称で記載することがあります。

正式名称	略称	
Microsoft® Windows Server® 2019 Datacenter	Windows Server 2019 Datacenter	Windows Server 2019
Microsoft® Windows Server® 2019 Standard	Windows Server 2019 Standard	
Microsoft® Windows Server® 2019 Essentials	Windows Server 2019 Essentials	
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter	Windows Server 2016 Datacenter	Windows Server 2016
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard	Windows Server 2016 Standard	
Microsoft® Windows Server® 2016 Essentials	Windows Server 2016 Essentials	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Windows Server 2012 R2 Datacenter	Windows Server 2012 R2
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard	Windows Server 2012 R2 Standard	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials	Windows Server 2012 R2 Essentials	
Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter	Windows Server 2012 Datacenter	Windows Server 2012
Microsoft® Windows Server® 2012 Standard	Windows Server 2012 Standard	
Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials	Windows Server 2012 Essentials	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Datacenter	Windows Server 2008 R2 Datacenter	Windows Server 2008 R2
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise	Windows Server 2008 R2 Enterprise	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard	Windows Server 2008 R2 Standard	
Red Hat Enterprise Linux 8.0 (for Intel64)	RHEL 8.0	Red Hat Enterprise Linux または Linux
Red Hat Enterprise Linux 7.6 (for Intel64)	RHEL 7.6	
Red Hat Enterprise Linux 7.5 (for Intel64)	RHEL 7.5	
Red Hat Enterprise Linux 7.4 (for Intel64)	RHEL 7.4	
Red Hat Enterprise Linux 7.3 (for Intel64)	RHEL 7.3	
Red Hat Enterprise Linux 7.2 (for Intel64)	RHEL 7.2	
Red Hat Enterprise Linux 7.1 (for Intel64)	RHEL 7.1	
Red Hat Enterprise Linux 6.10 (for Intel64)	RHEL 6.10(Intel64)	
Red Hat Enterprise Linux 6.10 (for x86)	RHEL 6.10(x86)	
Red Hat Enterprise Linux 6.9 (for Intel64)	RHEL 6.9(Intel64)	
Red Hat Enterprise Linux 6.9 (for x86)	RHEL 6.9(x86)	
Red Hat Enterprise Linux 6.8 (for Intel64)	RHEL 6.8(Intel64)	

正式名称	略称		
Red Hat Enterprise Linux 6.8 (for x86)	RHEL 6.8(x86)		
Red Hat Enterprise Linux 6.7 (for Intel64)	RHEL 6.7(Intel64)		
Red Hat Enterprise Linux 6.7 (for x86)	RHEL 6.7(x86)		
Red Hat Enterprise Linux 6.6 (for Intel64)	RHEL 6.6(Intel64)		
Red Hat Enterprise Linux 6.6 (for x86)	RHEL 6.6(x86)		
SUSE Linux Enterprise Server 15 (for AMD64 & Intel64)	SUSE 15(AMD64) SUSE 15(Intel64) または SLES 15(AMD64) SLES 15(Intel64)	SUSE Linux Enterprise Server または Linux	
SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4 (for AMD64 & Intel64)	SUSE 12 SP4(AMD64) SUSE 12 SP4(Intel64) または SLES 12 SP4(AMD64) SLES 12 SP4(Intel64)		
SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3 (for AMD64 & Intel64)	SUSE 12 SP3(AMD64) SUSE 12 SP3(Intel64) または SLES 12 SP3(AMD64) SLES 12 SP3(Intel64)		
SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2 (for AMD64 & Intel64)	SUSE 12 SP2(AMD64) SUSE 12 SP2(Intel64) または SLES 12 SP2(AMD64) SLES 12 SP2(Intel64)		
SUSE Linux Enterprise Server 12 SP1 (for AMD64 & Intel64)	SUSE 12 SP1(AMD64) SUSE 12 SP1(Intel64) または SLES 12 SP1(AMD64) SLES 12 SP1(Intel64)		
SUSE Linux Enterprise Server 12 (for AMD64 & Intel64)	SUSE 12(AMD64) SUSE 12(Intel64) または SLES 12(AMD64) SLES 12(Intel64)		
SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4 (for AMD64 & Intel64)	SUSE 11 SP4(AMD64) SUSE 11 SP4(Intel64) または SLES 11 SP4(AMD64) SLES 11 SP4(Intel64)		
SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4 (for x86)	SUSE 11 SP4(x86) または SLES 11 SP4(x86)		
VMware® vSphere™ ESXi 6.7	VMware ESXi 6.7		VMware ESXi
VMware® vSphere™ ESXi 6.5	VMware ESXi 6.5		
VMware® vSphere™ ESXi 6.0	VMware ESXi 6.0		
VMware® vSphere™ ESXi 5.5	VMware ESXi 5.5		
VMware Virtual SAN	vSAN		

用語

本書で使用している主な略語および用語については、『用語集』を参照してください。

高度な安全性が要求される用途への使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。お客様は本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても富士通株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。また、本製品を安全にお使いいただくためには、本製品のご使用にあたり各製品(ハードウェア、ソフトウェア)をご理解いただく必要があります。必ず各製品の注意事項に従ったうえで本製品をご使用ください。本書は本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをとまなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。

免責事項

本製品の運用を理由とする損失、免失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねます。本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

登録商標について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Hyper-V、Active Directory、またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Red HatおよびRed Hatをベースとしたすべての商標とロゴは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の商標または登録商標です。

SUSEおよびSUSEロゴは、米国およびその他の国におけるSUSE LLCの商標または登録商標です。

VMware、VMwareロゴ、VMware ESXi、VMware SMPおよびVMotionはVMware, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel、インテル、Xeonは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。

Javaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Zabbixはラトビア共和国にあるZabbix LLCの商標です。

PostgreSQLはPostgreSQLの米国およびその他の国における商標です。

Apacheは、Apache Software Foundationの商標または登録商標です。

Ciscoは、米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc.およびその関連会社の商標です。

Elasticsearchは、Elasticsearch BVの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Xenは、XenSource, Inc.の商標です。

Trend MicroおよびDeep Securityは、トレンドマイクロ株式会社の商標又は登録商標です。

その他の会社名と各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

著作権表示

Copyright 2019 FUJITSU LIMITED

改版履歴

版数	提供年月	章・節・項	変更箇所	変更内容
01	2019年2月	—	—	新規作成
02	2019年4月	1.1 PRIMEFLEX for VMware vSANの自動設定値一覧	注	以下のパラメーターの注を変更 <ul style="list-style-type: none"> PRIMERGY RXシリーズ構成のクラスタvCSAの新規クラスタを構成するホストに対する設定 PRIMERGY CXシリーズ構成のクラスタvCSAの新規クラスタを構成するホストに対する設定
		1.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directの自動設定値一覧	注	以下のパラメーターの注を追加 <ul style="list-style-type: none"> 新規クラスタを構成するサーバのiRMCのLDAP構成
		2.1 PRIMEFLEX HS/PRIMEFLEX for VMware vSANの自動設定値一覧	注	以下のパラメーターの注を変更 <ul style="list-style-type: none"> PRIMERGY RXシリーズ構成の既存クラスタvCSAのクラスタ拡張時に追加するホストに対する設定 PRIMERGY CXシリーズ構成の既存クラスタvCSAのクラスタ拡張時に追加するホストに対する設定
		2.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directの自動設定値一覧	注	以下のパラメーターの注を追加 <ul style="list-style-type: none"> クラスタ拡張時に追加するサーバのiRMCのLDAP構成
		3.1 PRIMEFLEX for VMware vSANのクラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ作成機能)	設定項目	以下のパラメーターの設定項目の説明を変更 <ul style="list-style-type: none"> クラスタ詳細情報 - [LDAP]タブ
		3.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directのクラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ作成機能)	設定項目	以下のパラメーターの設定項目を追加 <ul style="list-style-type: none"> クラスタ詳細情報 - [LDAP]タブ
			注	以下のパラメーターの注を追加 <ul style="list-style-type: none"> クラスタ詳細情報 - [LDAP]タブ
		3.3 PRIMEFLEX HS/PRIMEFLEX for VMware vSANのクラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ拡張機能)	設定項目	以下のパラメーターの設定項目の説明を変更 <ul style="list-style-type: none"> クラスタ詳細情報 - [LDAP]タブ
		3.4 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directのクラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ拡張機能)	設定項目	以下のパラメーターの設定項目を追加 <ul style="list-style-type: none"> クラスタ詳細情報 - [LDAP]タブ
注	以下のパラメーターの注を追加 <ul style="list-style-type: none"> クラスタ詳細情報 - [LDAP]タブ 			

版数	提供年月	章・節・項	変更箇所	変更内容
		4.1 PRIMEFLEX HS／PRIMEFLEX for VMware vSANのプロファイル設定値一覧	注意	注意を追加
			設定項目	以下の設定項目の表を変更 <ul style="list-style-type: none"> PRIMEFLEX for VMware vSANの詳細 - [BIOS]タブ 詳細 - [iRMC]タブ 詳細 - [OS]タブ 詳細 - [OS個別情報]タブ
		4.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directのプロファイル設定値一覧	注意	注意を追加
			設定項目	以下の設定項目の表を変更 <ul style="list-style-type: none"> 基本情報 詳細 - [BIOS]タブ 詳細 - [iRMC]タブ 詳細 - [OS]タブ
03	2019年5月	全体	-	PRIMERGY M5シリーズの記事を追加
		1.1 PRIMEFLEX for VMware vSANの自動設定値一覧	設定項目	以下の設定項目の表を変更 <ul style="list-style-type: none"> 新規クラスタを構成するサーバのiRMC S5-[設定]-[ユーザー管理] 新規クラスタを構成するサーバのESXiの設定 PRIMERGY RXシリーズ構成のクラスタvCSAの新規クラスタを構成するホストに対する設定 PRIMERGY CXシリーズ構成のクラスタvCSAの新規クラスタを構成するホストに対する設定
			注	以下のパラメーターの注を追加 新規クラスタを構成するサーバのESXiの設定
		1.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directの自動設定値一覧	設定項目	以下の設定項目の表を変更 <ul style="list-style-type: none"> 新規クラスタを構成するサーバのiRMC S5-[設定]-[ユーザー管理] Windows Server Failover Clusterの設定
		2.1 PRIMEFLEX HS／PRIMEFLEX for VMware vSANの自動設定値一覧	設定項目	以下の設定項目の表を変更 <ul style="list-style-type: none"> クラスタ拡張時に追加するサーバのiRMC S4のユーザー管理 クラスタ拡張時に追加するサーバのiRMC S5-[設定]-[ユーザー管理]

版数	提供年月	章・節・項	変更箇所	変更内容
				<ul style="list-style-type: none"> クラスタ拡張時に追加するサーバのESXiの設定 PRIMERGY RXシリーズ構成の既存クラスタvCSAのクラスタ拡張時に追加するホストに対する設定 PRIMERGY CXシリーズ構成の既存クラスタvCSAのクラスタ拡張時に追加するホストに対する設定
			注	以下のパラメーターの注を追加 クラスタ拡張時に追加するサーバのESXiの設定
		2.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directの自動設定値一覧	設定項目	以下の設定項目の表を変更 <ul style="list-style-type: none"> クラスタ拡張時に追加するサーバのiRMC S5-[設定]-[ユーザー管理]

目次

第1章 クラスタ作成の自動設定値一覧.....	1
1.1 PRIMEFLEX for VMware vSANの自動設定値一覧.....	1
1.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directの自動設定値一覧.....	12
第2章 クラスタ拡張の自動設定値一覧.....	19
2.1 PRIMEFLEX HS／PRIMEFLEX for VMware vSANの自動設定値一覧.....	19
2.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directの自動設定値一覧.....	29
第3章 クラスタ定義パラメーターの設定値一覧.....	35
3.1 PRIMEFLEX for VMware vSANのクラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ作成機能).....	35
3.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directのクラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ作成機能).....	45
3.3 PRIMEFLEX HS／PRIMEFLEX for VMware vSANのクラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ拡張機能).....	52
3.4 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directのクラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ拡張機能).....	66
第4章 プロファイルの設定値一覧.....	73
4.1 PRIMEFLEX HS／PRIMEFLEX for VMware vSANのプロファイル設定値一覧.....	73
4.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directのプロファイル設定値一覧.....	77

第1章 クラスタ作成の自動設定値一覧

クラスタ作成機能の実行により、自動で設定される設定値について説明します。

1.1 PRIMEFLEX for VMware vSANの自動設定値一覧

PRIMEFLEX for VMware vSANの自動設定値について説明します。

以降の表の「変更可否」列の記載は、既存クラスタの設定値をPRIMEFLEX構成の設定値から変更していた場合、クラスタ作成の実行が可能かどうかを表しています(○:変更可、×:変更不可)。

注意

- 「設定値」の記載について
 - 設定値のうしろに*がある設定値は、「クラスタ作成」ウィザードで入力した値が設定されます。
 - 「設定値」の一部には、値ではなく設定箇所が記載されているものがあります。実際の値については、該当の設定箇所をご確認ください。
- PRIMERGY M5シリーズはISM 2.4.0.c以降で使用可能です。

ISM-[管理]-[ノード]-[<新規クラスタを構成するノード名>]-[ノードリスト]

設定項目	設定値	変更可否
「編集」ウィザードの[通信方式]		
パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[adminユーザー]-[パスワード]*	—
[プロパティ]タブ		
Web i/f URL	https://<iRMCのIPアドレス>/	—
[ログ設定]タブ		
保有期間		
イベントログ(日間)	7	—
操作ログ(日間)	7	—
セキュリティログ(日間)	7	—
保管ログ(世代)	7	—
ログ収集ターゲット		
ハードウェアログ	有効	—
オペレーティングシステム	有効	—
スケジュール		
スケジュール実行有効化	有効	—
スケジュールタイプ	曜日指定	—
曜日	毎週	—
曜日	土	—
時間	0:00	—

ISM-[管理]-[クラスタ]

設定項目	設定値	変更可否
仮想リソース		
VMware Virtual SAN	作成したクラスタの情報を追加	—
その他		
クラスタ情報	作成したクラスタの情報を追加	—

ISM-[設定]-[全般]

設定項目	設定値	変更可否
仮想化管理ソフトウェア		
仮想化管理ソフトウェア	作成したクラスタの情報を追加	—

ISM-[構築]-[プロファイル]-[プロファイル設定]-[<新規クラスタを構成するノード名>]

設定項目	設定値	変更可否
[OS]タブ		
インストール後のスクリプト実行		
インストール後のスクリプト実行	有効	—
スクリプト格納ディレクトリ	kickstart	—
実行するスクリプト	ESXi_Setting.sh	—

PRIMEFLEX for VMware vSAN構成のADVM

設定項目	設定値	変更可否
[DNSマネージャー]-[<ドメイン名>]		
前方参照ゾーンへのホストレコード [注1]	[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]*	—
逆引き参照ゾーンへのホストレコード [注1]	新規クラスタを構成するサーバのESXi IPアドレス[注2]	—

[注1]:PRIMEFLEX構成のADVMを使用していない時は登録しません。お客様環境の既存AD構成時は、『操作手順書』の「6.7.1.2 DNSへホストレコードを登録する」で登録してください。

[注2]:新規クラスタを構成するサーバのESXi IPアドレスは、「ノードリスト」画面-[<新規クラスタを構成するノード名>]-[OS]タブ-[基本情報]-[登録IPアドレス]の値が設定されます。

新規クラスタを構成するサーバのiRMC S5-[設定]-[ユーザー管理]

設定項目	設定値	変更可否
[iRMCローカルユーザーアカウント]-[管理ユーザー]		
ユーザー情報		
User Enabled	有効	—
名前	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー]-[ユーザー名]*	—
パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー]-[パスワード]*	—
アクセス構成		
Redfish/WebUI Permissions		
Redfish / Web UI User	有効	—

設定項目	設定値	変更可否
Redfishロール	管理者	—
IPMI Privileges		
LAN Channel Privilege	OEM	—
シリアルアクセス権限	OEM	—
ユーザーアカウント変更権限	有効	—
iRMC 設定変更権限	有効	—
AVR Permissions		
ビデオリダイレクション	有効	—
リモートストレージ	有効	—
その他		
使用シェル (Textアクセス)	リモートマネージャー	—
[iRMCローカルユーザーアカウント]-[adminユーザー]		
ユーザー情報		
パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[adminユーザー]-[パスワード]*	—

新規クラスタを構成するサーバのiRMCのLDAP構成

設定項目	設定値	変更可否
[ユーザー管理]-[LDAP構成] [注1]		
LDAPを有効にする	true	—
LDAP SSL接続を有効にする	false	—
ローカルユーザーでのログインを禁止する	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ローカルユーザーによるログイン]*	—
常にSSLログインを使用する	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]-[常にTLS/SSLログイン]*	—
ディレクトリサーバタイプ	Active Directory [クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ディレクトリサーバタイプ]*	—
ドメイン名	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ドメイン名]*	—
部署名	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[部署名]*	—
プライマリ		
LDAPサーバ	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ ホスト名またはIPアドレス]*	—
LDAPポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ ポート番号]*	—
LDAP SSLポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ TLS/SSLポート番号]*	—
バックアップ		
LDAPサーバ	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ ホスト名またはIPアドレス]*	—
LDAPポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ ポート番号]*	—
LDAP SSLポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ TLS/SSLポート番号]*	—

[注1]: クラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外した場合は設定されません。

新規クラスタを構成するサーバのESXiの設定

設定項目	設定値	変更可否
OS		
VMware ESXi	インストール	—
ESXiパッチ	ISMにファイルがアップロードされていれば適用する	—
SMI-Sプロバイダ		
VMware SMIS Provider	ISMにファイルがアップロードされていれば適用する [注1]	—
ドライバ		
ixgbenドライバ	有効	—
[Host Client]-[管理]-[システム]-[日付と時刻]		
現在の日付と時刻	UTC (協定世界時)	—
NTPサーバ	[クラスタ詳細情報]-[NTP]タブ-[NTPサーバ1ホスト名またはIPアドレス]* [クラスタ詳細情報]-[NTP]タブ-[NTPサーバ2ホスト名またはIPアドレス]*	—
[Host Client]-[管理]-[サービス]		
TSM	起動/停止 [注2]	—
TSM-SSH	起動/停止 [注2]	—
lwsmd	起動 [注3]	—
ntpd	起動	—
[Host Client]-[管理]-[セキュリティとユーザー]		
ユーザー名	[ノード詳細情報]-[OS]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー名]*	—
パスワード	[ノード詳細情報]-[OS]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザーのパスワード]*	—
認証 ドメインに参加 [注4]	有効	—
[Host Client]-[管理]-[ハードウェア]-[電源管理]		
アクティブなポリシー	高パフォーマンス	—
[Host Client]-[ストレージ]-[データストア]		
ローカルデータストア名のリネーム	LacalDatastore_<ホスト名> [注5]	—
[Host Client]-[ネットワーク]-[TCP/IPスタック]-[デフォルトのTCP/IPスタック]-[DNS設定]		
アドレス	ISMのプロファイルに指定したDNSサーバのIPアドレス [クラスタ詳細情報]-[DNS]タブ-[セカンダリDNSサーバIPアドレス]*	—
ドメインの検索	[クラスタ詳細情報]-[DNS]タブ-[ドメイン名]*	—
[Host Client]-[ネットワーク]-[ファイアウォール ルール]		
NTP Client	起動	—
[Host Client]-[ホスト]-[アクション]-[権限]-[ユーザーの追加]		
ロールの設定	Host/virtual machineに関するAdmin権限を追加	—
その他		

設定項目	設定値	変更可否
FQDNの設定	[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名].[クラスタ詳細情報]-[DNS]タブ-[ドメイン名]*	—
IPv6	無効	—
既存のVM Networkポートグループ	削除	—
SSL v3	有効	—
NTP分散化[注6]	[クラスタ詳細情報]-[NTP]タブ-[NTPピアとの最大間隔]*	—

[注1]: VMware ESXi 6.5.0.5310538の場合に設定する設定値です。

[注2]: クラスタ作成の実行中は起動に設定します。

[注3]: クラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外した場合は起動されません。

[注4]: クラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外した場合は設定されません。

[注5]: datastore1からリネームされます。<ホスト名>は「ノードリスト」画面-[<新規クラスタを構成するノード名>]-[OS]タブ-[OSからの取得情報]-[ホスト名]の値が設定されます。

[注6]: /etc/ntp.confファイルの「tos maxdist」に設定する設定値です。

クラスタvCSAの設定

設定項目	設定値	変更可否
クラスタ		
データセンター名	[クラスタ基本情報]-[データセンター名]*	—
クラスタ名	[クラスタ基本情報]-[クラスタ名]*	—
vSphere DRS	無効	—
VMware EVC	無効	—
vSphere HA		
vSphere HA	有効	—
ホストの障害応答	仮想マシンの再起動	—
ホスト隔離への対応	仮想マシンをパワーオフして再起動	—
PDL (永続的なデバイスの損失) 状態のデータストアの障害応答	無効	—
APD (All Paths Down) の障害応答	無効	—
仮想マシンの監視	有効	—
アプリケーションの監視	無効	—
詳細オプション das.registerRestartDisabledVMs	false	—
詳細オプション das.useDefaultIsolationAddress	false	—
詳細オプション das.isolationAddress0	[クラスタ詳細情報]-[機能]タブ-[vSphere HA]-[隔離時の応答アドレス1]*	—
詳細オプション das.isolationAddress1	[クラスタ詳細情報]-[機能]タブ-[vSphere HA]-[隔離時の応答アドレス2]*	—
Virtual SAN		
Virtual SAN	有効	—
ストレージへのディスクの追加	[クラスタ詳細情報]-[機能]タブ-[vSAN設定]-[ストレージへのディスクの追加]*	—

設定項目	設定値	変更可否
デデュープおよび圧縮	[クラスタ詳細情報]-[機能]タブ-[vSAN設定]-[デデュープおよび圧縮]*	—
vDS設定 [注1]		
vDS数	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]*に指定したvDSの数	—
vDS名	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[vDS名]*	—
バージョン	6.5.0	—
NIOC	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[NIOC]*	—
MTU	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[MTU]*	—
マルチキャストフィルタリングモード	基本	—
スイッチ検出プロトコル タイプ	LLDP	—
スイッチ検出プロトコル 操作	待機	—
アップリンク数	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[アップリンク設定]-[アップリンク名]*に指定したアップリンク名の数	—
アップリンク名	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[アップリンク設定]-[アップリンク名]*	—
vDS設定-ポートグループ [注1]		
ポートグループの数	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[ポートグループ]*に指定したポートグループ数	—
ポートグループ名	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[ポートグループ]-[ポートグループ名]*	—
タイプ	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[ポートグループ]-[タイプ]*	—
ポートバインド	静的バインド	—
ポートの割り当て	弾性	—
ポート数	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[ポートグループ]-[ポート数]*	—
ネットワークリソースプール	デフォルト	—
VLANタイプ	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[ポートグループ]-[VLANタイプ]*	—
VLAN ID	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[ポートグループ]-[VLAN ID]*	—
NIOC トラフィック	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[NIOC設定]-[トラフィック]*	—
NIOC シェア	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[NIOC設定]-[シェア]*	—

設定項目	設定値	変更可否
NIOC 予約	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[NIOC設定]-[予約]*	—
NIOC 制限	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[NIOC設定]-[制限]*	—
フェイルオーバーの順序 アップリンク名	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[アップリンク設定]-[アップリンク名]*	—
フェイルオーバーの順序 分散方法	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[アップリンク設定]-[フェイルオーバーの順序]-[分散方法]*	—
フェイルオーバーの順序	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[アップリンク設定]-[フェイルオーバーの優先順序設定]-[優先順序]*	—
ポリシー設定 セキュリティ 無差別モード	拒否	—
ポリシー設定 セキュリティ MACアドレス変更	拒否	—
ポリシー設定 セキュリティ 偽装転送	拒否	—
ポリシー設定 トラフィックシェーピング ステータス	無効	—
ポリシー設定 トラフィックシェーピング 平均バンド幅	—	—
ポリシー設定 トラフィックシェーピング ピークバンド幅	—	—
ポリシー設定 トラフィックシェーピング バーストサイズ	—	—
ポリシー設定 フェイルオーバーとロードバランシング ロードバランシング	発信元の仮想ポートに基づいたルート	—
ポリシー設定 フェイルオーバーとロードバランシング ネットワークの障害検出	リンク状態のみ	—
ポリシー設定 フェイルオーバーとロードバランシング スイッチへの通知	する	—
ポリシー設定 フェイルオーバーとロードバランシング フェイルバック	有効	—
データストア		
データストア名	[クラスタ詳細情報]-[ストレージプール]タブ-[ストレージプール名]*	—

設定項目	設定値	変更可否
タイプ	vsan	—
デフォルトストレージポリシー	Virtual SAN Default Storage Policy	—

[注1]: 既存クラスタのvDSを指定した場合は設定されません。

PRIMERGY RXシリーズ構成のクラスタvCSAの新規クラスタを構成するホストに対する設定

設定項目	設定値	変更可否
Virtual Standard Switch (vSS: 標準仮想スイッチ)- vSwitch0 (ビルトイン仮想スイッチ)		
vSwitch0	削除	—
すべてのvnic	削除	—
Management Network	削除	—
Virtual Distribution Switch (vDS: 分散仮想スイッチ)- 業務用仮想スイッチ		
管理トラフィック	—	—
VLANID	—	—
MTU	—	—
管理IPアドレス	—	—
サブネットマスク	—	—
フェイルバック	—	—
uplink1	—	—
uplink2	—	—
vmk0	—	—
Virtual Distribution Switch (vDS: 分散仮想スイッチ)- 管理用仮想スイッチ		
uplink1	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink1>]-[vnic名<vnic2>]*	—
uplink2	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink2>]-[vnic名<vnic4>]*	—
vmk0	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]*	—
vmk1	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]*	—
vmk2	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]*	—
vSANネットワーク用IPアドレス	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[IPv4アドレス]*	—
vSANネットワーク用サブネットマスク	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[IPv4サブネットマスク]*	—
vMotionネットワーク用IPアドレス	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[IPv4アドレス]*	—

設定項目	設定値	変更可否
vMotionネットワーク用サブネットマスク	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[IPv4サブネットマスク]*	—
[ネットワーク]-[Distributed Switch]-[管理用仮想スイッチ]-[設定]-[システムトラフィック]-[管理トラフィック]		
シェア	30	—
予約	500	—
ディスク		
ハードディスク ローカルとしてマーク	true	—
SSD キャッシュ用以外のSSDをキャパシティとしてマーク (All Flash構成時)	True [注1]	—
データセンター		
新規クラスタを構成するノードを仮想ネットワークへ追加<業務用分散仮想スイッチ名>	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1]-[vDS名]*	—
新規クラスタを構成するノードを仮想ネットワークへ追加<管理用分散仮想スイッチ名>	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[vDS名]*	—
新規クラスタを構成するホストをデータセンターへ追加	[クラスタ基本情報]-[データセンター名]*	—
クラスタ		
フォールトドメインおよびストレッチクラスタ	fd_<ホスト名> [注2]	—
新規クラスタを構成するノードをクラスタへ追加	[クラスタ基本情報]-[クラスタ名]*	—

[注1]:2種類のSSDのうち、本数が少ない方(SSDの本数が同じとき、容量の小さい方)はキャッシュ用のSSDとして設定されます。

[注2]:<ホスト名>は「ノードリスト」画面-<新規クラスタを構成するノード名>-[OS]タブ-[OSからの取得情報]-[ホスト名]の値が設定されます。

PRIMERGY CXシリーズ構成のクラスタvCSAの新規クラスタを構成するホストに対する設定

設定項目	設定値	変更可否
Virtual Standard Switch (vSS:標準仮想スイッチ)- vSwitch0(ビルトイン仮想スイッチ)		
vSwitch0	削除	—
すべてのvmnic	削除	—
Management Network	削除	—
Virtual Distribution Switch (vDS:分散仮想スイッチ)- 業務用仮想スイッチ		
管理トラフィック	—	—
VLANID	—	—
MTU	—	—
管理IPアドレス	—	—
サブネットマスク	—	—

設定項目		設定値	変更可否
	フェイルバック	—	—
	uplink1	—	—
	uplink2	—	—
	vmk0	—	—
Virtual Distribution Switch (vDS:分散仮想スイッチ)- 管理用仮想スイッチ			
	uplink1	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink1>]-[vmnic名<vmnic1>]*	—
	uplink2	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink2>]-[vmnic名<vmnic3>]*	—
	vmk0	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]*	—
	vmk1	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]*	—
	vmk2	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]*	—
	vSANネットワーク用IPアドレス	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[IPv4アドレス]*	—
	vSANネットワーク用サブネットマスク	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[IPv4サブネットマスク]*	—
	vMotionネットワーク用IPアドレス	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[IPv4アドレス]*	—
	vMotionネットワーク用サブネットマスク	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[IPv4サブネットマスク]*	—
[ネットワーク]-[Distributed Switch]-[管理用仮想スイッチ]-[設定]-[システムトラフィック]-[管理トラフィック]			
	シェア	30	—
	予約	500	—
ディスク			
	ハードディスク ローカルとしてマーク	true	—
	SSD キャッシュ用以外のSSDをキャパシティとしてマーク (All Flash構成時)	True [注1]	—
データセンター			
	新規クラスタを構成するノードを仮想ネットワークへ追加<業務用分散仮想スイッチ名>	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1]-[vDS名]*	—
	新規クラスタを構成するノードを仮想ネットワークへ追加<管理用分散仮想スイッチ名>	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[vDS名]*	—

設定項目	設定値	変更可否
新規クラスタを構成するホストをデータセンターへ追加	[クラスタ基本情報]-[データセンター名]*	—
クラスタ		
フォールトドメインおよびストレッチクラスタ	fd_<ホスト名> [注2]	—
新規クラスタを構成するノードをクラスタへ追加	[クラスタ基本情報]-[クラスタ名]*	—

[注1]:2種類のSSDのうち、本数が少ない方(SSDの本数が同じとき、容量の小さい方)はキャッシュ用のSSDとして設定されます。

[注2]:<ホスト名>は「ノードリスト」画面-<新規クラスタを構成するノード名>-[OS]タブ-[OSからの取得情報]-[ホスト名]の値が設定されます。

表1.1 vmnic名、アップリンク名の自動設定値

設定項目	設定値	
	PRIMERGY RX M4シリーズ/PRIMERGY RX M5シリーズの場合	PRIMERGY CX M4シリーズ/PRIMERGY CX M5シリーズの場合
vmnic名	<ul style="list-style-type: none"> vDS-1(業務用分散仮想スイッチ) <ul style="list-style-type: none"> 業務系ポート#1:vmnic1 業務系ポート#2:vmnic3[注1] vDS-2(管理用分散仮想スイッチ) <ul style="list-style-type: none"> — 管理用ネットワークポートグループ <ul style="list-style-type: none"> Active:vmnic2 Standby:vmnic4[注1] — vMotion用ネットワークポートグループ <ul style="list-style-type: none"> Active:vmnic2 Standby:vmnic4[注1] — vSAN用ネットワークポートグループ <ul style="list-style-type: none"> Active:vmnic4[注1] Standby:vmnic2[<ul style="list-style-type: none"> vDS-1(業務用分散仮想スイッチ) <ul style="list-style-type: none"> 業務系ポート#1:vmnic2 業務系ポート#2:vmnic4[注1] vDS-2(管理用分散仮想スイッチ) <ul style="list-style-type: none"> — 管理用ネットワークポートグループ <ul style="list-style-type: none"> Active:vmnic1 Standby:vmnic3 — vMotion用ネットワークポートグループ <ul style="list-style-type: none"> Active:vmnic1 Standby:vmnic3 — vSAN用ネットワークポートグループ <ul style="list-style-type: none"> Active:vmnic3 Standby:vmnic1
アップリンク名	<ul style="list-style-type: none"> vDS-1(業務用分散仮想スイッチ) <ul style="list-style-type: none"> 業務系ポート#1:Uplink2 業務系ポート#2:Uplink4 vDS-2(管理用分散仮想スイッチ) <ul style="list-style-type: none"> — 管理用ネットワークポートグループ <ul style="list-style-type: none"> Active:Uplink1 Standby:Uplink3 — vMotion用ネットワークポートグループ <ul style="list-style-type: none"> Active:Uplink1 Standby:Uplink3 — vSAN用ネットワークポートグループ <ul style="list-style-type: none"> Active:Uplink3 Standby:Uplink1 	<ul style="list-style-type: none"> vDS-1(業務用分散仮想スイッチ) <ul style="list-style-type: none"> 業務系ポート#1:Uplink2 業務系ポート#2:Uplink4 vDS-2(管理用分散仮想スイッチ) <ul style="list-style-type: none"> — 管理用ネットワークポートグループ <ul style="list-style-type: none"> Active:Uplink1 Standby:Uplink3 — vMotion用ネットワークポートグループ <ul style="list-style-type: none"> Active:Uplink1 Standby:Uplink3 — vSAN用ネットワークポートグループ <ul style="list-style-type: none"> Active:Uplink3 Standby:Uplink1

[注1]: 拡張カードを複数枚ご購入いただいた場合、2枚目の拡張カードは、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。

1.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directの自動設定値一覧

PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directの自動設定値について説明します。

以降の表の「変更可否」列の記載は、既存クラスタの設定値をPRIMEFLEX構成の設定値から変更していた場合、クラスタ作成の実行が可能かどうかを表しています(○:変更可、×:変更不可)。



注意

「設定値」の記載について

- 設定値のうしろに*がある設定値は、「クラスタ作成」ウィザードで入力した値が設定されます。
- 「設定値」の一部には、値ではなく設定箇所が記載されているものがあります。実際の値については、該当の設定箇所をご確認ください。

ISM-[管理]-[ノード]-[<新規クラスタを構成するノード名>]-[ノードリスト]

設定項目	設定値	変更可否
「編集」ウィザードの[通信方式]		
パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[adminユーザー]-[パスワード]*	—
[プロパティ]タブ		
Web i/f URL	https://<iRMCのIPアドレス>/	—
[OS]タブ		
アカウント	pflocaladmin	—
[ログ設定]タブ		
保有期間		
イベントログ(日間)	7	—
操作ログ(日間)	7	—
セキュリティログ(日間)	7	—
保管ログ(世代)	7	—
ログ収集ターゲット		
ハードウェアログ	有効	—
オペレーティングシステム	有効	—
スケジュール		
スケジュール実行有効化	有効	—
スケジュールタイプ	曜日指定	—
曜日	毎週	—
曜日	土	—
時間	0:00	—

ISM-[管理]-[クラスタ管理]

設定項目	設定値	変更可否
仮想リソース		
Microsoft Failover Cluster	作成したクラスタの情報を追加	—

設定項目	設定値	変更可否
その他		
クラスタ情報	作成したクラスタの情報を追加	—

ISM-[設定]-[全般]

設定項目	設定値	変更可否
仮想化管理ソフトウェア		
仮想化管理ソフトウェア	作成したクラスタの情報を追加	—

ISM-[構築]-[プロファイル]-[プロファイル設定]-[<新規クラスタを構成するノード名>]

設定項目	設定値	変更可否
[OS]タブ		
インストール後のスクリプト実行		
インストール後のスクリプト実行	有効	—
OSに転送するディレクトリ	postscript_ClusterOperation	—
実行するスクリプト	WinSvr_Setting.bat	—

新規クラスタを構成するサーバのiRMC S5-[設定]-[ユーザー管理]

設定項目	設定値	変更可否
[iRMCローカルユーザーアカウント]-[管理ユーザー]		
ユーザー情報		
User Enabled	有効	—
名前	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー]-[ユーザー名]*	—
パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー]-[パスワード]*	—
アクセス構成		
Redfish/WebUI Permissions		
Redfish / Web UI User	有効	—
Redfishロール	管理者	—
IPMI Privileges		
LAN Channel Privilege	OEM	—
シリアルアクセス権限	OEM	—
ユーザーアカウント変更権限	有効	—
iRMC 設定変更権限	有効	—
AVR Permissions		
ビデオリダイレクション	有効	—
リモートストレージ	有効	—
その他		
使用シェル(Textアクセス)	リモートマネージャー	—
[iRMCローカルユーザーアカウント]-[adminユーザー]		

設定項目	設定値	変更可否
ユーザー情報		
パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[adminユーザー]-[パスワード]*	—

新規クラスタを構成するサーバのiRMCのLDAP構成

設定項目	設定値	変更可否
[ユーザー管理]-[LDAP構成] [注1]		
LDAPを有効にする	true	—
LDAP SSL接続を有効にする	false	—
ローカルユーザーでのログインを禁止する	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ローカルユーザーによるログイン]*	—
常にSSLログインを使用する	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[常にTLS/SSLログイン]*	—
ディレクトリサーバタイプ	Active Directory [クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ディレクトリサーバタイプ]*	—
ドメイン名	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ドメイン名]*	—
部署名	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[部署名]*	—
プライマリ		
LDAPサーバ	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ ホスト名またはIPアドレス]*	—
LDAPポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ ポート番号]*	—
LDAP SSLポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ SSLポート番号]*	—
バックアップ		
LDAPサーバ	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ ホスト名またはIPアドレス]*	—
LDAPポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ ポート番号]*	—
LDAP SSLポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ SSLポート番号]*	—

[注1]:ISM 2.4.0.b以降ではクラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外した場合は設定されません。

Windows Server Failover Clusterの設定

設定項目	設定値	変更可否
クラスタ作成		
クラスタ名	[クラスタ基本情報]-[クラスタ名]*	—
クラスタネットワーク作成		
作成するクラスタネットワーク数	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[クラスタネットワーク情報]に指定したクラスタネットワーク数	—
ネットワーク名	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[ネットワーク名]*	—
Role設定	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[Role設定]*	—
IPアドレス	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[IPv4ネットワークアドレス]*	—

設定項目	設定値	変更可否
サブネットマスク	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[IPv4サブネットマスク]*	—
ライブマイグレーション用ネットワークの設定		
優先順序	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[ネットワーク名]*で指定した順	—
ストレージプール		
ストレージプールのフレンドリーネーム	S2D on <クラスタ名>	—
ジャーナル設定		
メディアタイプ	[クラスタ詳細情報]-[ストレージプール]タブ-[ジャーナル設定]-[メディアタイプ]*	—
バスタイプ	[クラスタ詳細情報]-[ストレージプール]タブ-[ジャーナル設定]-[バスタイプ]*	—
ストレージティア設定		
ストレージティア名	[クラスタ詳細情報]-[ストレージプール]タブ-[ストレージティア設定]-[ストレージティア名]*	—
メディアタイプ	[クラスタ詳細情報]-[ストレージプール]タブ-[ストレージティア設定]-[メディアタイプ]*	—
回復性	[クラスタ詳細情報]-[ストレージプール]タブ-[ストレージティア設定]-[回復性]*	—
冗長性	[クラスタ詳細情報]-[ストレージプール]タブ-[ストレージティア設定]-[冗長性]*	—
データコピー数	[クラスタ詳細情報]-[ストレージプール]タブ-[ストレージティア設定]-[データコピー数]*	—

新規クラスタを構成するサーバのWindows Serverの設定

設定項目	設定値	変更可否
WinRM		
ベーシック認証	true	—
サービスの有効化		
CredSSP	有効	—
CredSSP		
サーバロール	有効	—
クライアントロール	有効	—
証明書		
<ISM内のファイル>.cer	登録	—
<ISM内のファイル>.pfx	登録	—
ファイアウォール		
5986	開放	—
HTTPS		
リスナー	作成	—
Hyper-Vホスト		
MACアドレスの範囲	第1-3オクテット:ベンダID(0x00155D)固定	—

設定項目	設定値	変更可否
	第4オクテット:[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]* のIPv4のIPアドレスの第3オクテット 第5オクテット:[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]* のIPv4のIPアドレスの第4オクテット 第6オクテット:0x00-0xFF	
ローカルユーザーの作成		
ユーザー名	[ノード詳細情報]-[OS]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー名]*	—
パスワード	[ノード詳細情報]-[OS]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザーのパスワード]*	—
機能、役割の追加		
Hyper-Vの管理ツール	インストール	—
Windows Server バックアップ	インストール	—
フェイルオーバークラスタの管理	インストール	—
仮想スイッチの作成		
仮想スイッチ名	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[業務用仮想スイッチ、または管理用仮想スイッチ]-[仮想スイッチ設定情報]-[仮想スイッチ名]* [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
チーミング	有効 [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[業務用仮想スイッチ、または管理用仮想スイッチ]-[仮想スイッチ設定情報]-[エンベデッドチーミング]*	—
VMネットアダプタ - ネットワーク名の設定		
ネットワーク名	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[仮想ネットワークアダプタ<管理用ネットワークアダプタ名、ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1名、またはライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2名>]-[アダプタ名]* [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
VMネットワークの設定 - ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワーク1		
VLANID	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[管理用仮想スイッチ<ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1名>]-[VLAN ID]*	—
IPアドレス	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[仮想ネットワークアダプタ<ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1名>]-[IPv4アドレス]* [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
サブネットマスクの長さ	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[仮想ネットワークアダプタ<ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1名>]-[IPv4サブネットマスク]* [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
IPアドレスの種類	IPv4	—

設定項目	設定値	変更可否
VMネットワークの設定 - ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワーク2		
VLANID	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[管理用仮想スイッチ<ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2名>]-[VLAN ID]*	—
IPアドレス	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[仮想ネットワークアダプタ<ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2名>]-[IPv4アドレス]* [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
サブネットマスクの長さ	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[仮想ネットワークアダプタ<ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2名>]-[IPv4サブネットマスク]* [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
IPアドレスの種類	IPv4	—
ネットワークの設定		
IPv6	無効	—
ネットワークの設定 - IPv4		
IPアドレス	[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]*のIPv4のIPアドレス [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
サブネットマスクの長さ	[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]*のIPv4のサブネットマスク長 [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
IPアドレスの種類	IPv4	—
デフォルトゲートウェイ	ISMのプロファイルに指定したOS個別情報のネットワークのデフォルトゲートウェイ [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
IPアドレス	[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]*のIPv4のIPアドレス [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
ネットワークの設定 - 優先DNSサーバ		
DNS名	Mgmt	—
IPアドレス	ISMのプロファイルに指定したDNSサーバのIPアドレス	—
プライマリ DNS サフィックス	register=primary	—
DNSサーバ設定の検証	validate=no	—
ネットワークの設定 - 代替DNSサーバ		
DNS名	Mgmt	—
IPアドレス	[クラスタ詳細情報]-[DNS]タブ-[セカンダリDNSサーバIPアドレス]*	—
順番	index=2	—
DNSサーバ設定の検証	validate=no	—
ネットワークの設定 - 管理用ポートのVMQ		

設定項目	設定値	変更可否
Enable	True [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
MaxProcessors	$(X - 1) / M$ [注1] [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
BaseProcessorNumber	$(1 + ((X - 1) / M) * (N - 1)) * Y$ [注1] [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
MaxProcessorNumber	$((X - 1) / M) * N * Y$ [注1] [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
ネットワークの設定 - 業務用ポートのVMQ		
Enable	True [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
MaxProcessors	$(X - 1) / M$ [注1] [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
BaseProcessorNumber	$(1 + ((X - 1) / M) * (N - 1)) * Y$ [注1] [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
MaxProcessorNumber	$((X - 1) / M) * N * Y$ [注1] [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
ネットワークの設定 - LANドライバ		
VMQ	有効 [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
SR-IOV	無効 [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
QoS(業務用Port)	無効[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
QoS(管理用Port)	無効 [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—

[注1]: 各記号は以下の値を表しています。

X: プロセッサコア数

Y: 1コア当たりの論理プロセッサ数

M: VMQの設定を行う物理ネットワークポートの数

N: VMQの設定を行う物理ネットワークポートの連番 (1~M)

第2章 クラスタ拡張の自動設定値一覧

クラスタ拡張機能の実行により、自動で設定される設定値について説明します。

2.1 PRIMEFLEX HS／PRIMEFLEX for VMware vSANの自動設定値一覧

PRIMEFLEX HS／PRIMEFLEX for VMware vSANの自動設定値について説明します。

以降の表の「変更可否」列の記載は、既存クラスタの設定値をPRIMEFLEX構成の設定値から変更していた場合、クラスタ拡張の実行が可能かどうかを表しています(○:変更可、×:変更不可)。

注意

- 「設定値」の記載について
 - 設定値のうしろに*がある設定値は、「クラスタ拡張」ウィザードで入力した値が設定されます。
 - 「設定値」の一部には、値ではなく設定箇所が記載されているものがあります。実際の値については、該当の設定箇所をご確認ください。
- PRIMERGY M5シリーズはISM 2.4.0.c以降で使用可能です。

ISM-[管理]-[ノード]-[<クラスタ拡張時に追加するノード名>]-[ノードリスト]

設定項目	設定値	変更可否
「編集」ウィザードの[通信方式]		
パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[adminユーザー]-[パスワード]*	×
[プロパティ]タブ		
Web i/f URL	https://<iRMCのIPアドレス>/	×
[ログ設定]タブ		
保有期間		
イベントログ(日間)	7	○
操作ログ(日間)	7	○
セキュリティログ(日間)	7	○
保管ログ(世代)	7	○
ログ収集ターゲット		
ハードウェアログ	有効	○
オペレーティングシステム	有効	○
スケジュール		
スケジュール実行有効化	有効	×
スケジュールタイプ	曜日指定	○
曜日	毎週	○
曜日	土	○
時間	0:00	○

ISM-[構築]-[プロファイル]-[プロファイル設定]-[<クラスタ拡張時に追加するノード名>]

設定項目	設定値	変更可否
[OS]タブ		
インストール後のスクリプト実行		
インストール後のスクリプト実行	有効	×
スクリプト格納ディレクトリ	kickstart	×
実行するスクリプト	ESXi_Setting.sh	×

PRIMEFLEX HS/PRIMEFLEX for VMware vSAN構成のADVM

設定項目	設定値	変更可否
[DNSマネージャー]-[<ドメイン名>]		
前方参照ゾーンへのホストレコード [注1]	[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]*	×
逆引き参照ゾーンへのホストレコード [注1]	クラスタ拡張時に追加するサーバのESXi IPアドレス [注2]	×

[注1]: PRIMEFLEX構成のADVMを使用していないときは登録しません。PRIMEFLEX構成のADVMを使用していないときは、『操作手順書』の「6.9.1.2 DNSへホストレコードを登録する」で登録してください。

[注2]: クラスタ拡張時に追加するサーバのESXi IPアドレスは、「ノードリスト」画面-[<クラスタ拡張時に追加するノード名>]-[OS]タブ-[基本情報]-[登録IPアドレス]の値が設定されます。

クラスタ拡張時に追加するサーバのiRMC S4のユーザー管理

設定項目	設定値	変更可否
[iRMC S4 ユーザー情報]-[ユーザーの新規作成]		
名前	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー]-[ユーザー名]*	○
パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー]-[パスワード]*	○
IPMIユーザー有効	true	×
LANアクセス権限	OEM	×
シリアルアクセス権限	OEM	×
ユーザーアカウント変更権限	true	×
iRMC S4設定変更権限	true	×
AVR使用権限	true	×
リモートストレージ使用権限	true	×
使用シェル(Textアクセス)	RemoteManger	×
[iRMC S4 ユーザー情報]-[adminユーザー]		
パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[adminユーザー]-[パスワード]*	×

クラスタ拡張時に追加するサーバのiRMC S5-[設定]-[ユーザー管理]

設定項目	設定値	変更可否
[iRMCローカルユーザーアカウント]-[管理ユーザー]		
ユーザー情報		

設定項目	設定値	変更可否
User Enabled	有効	×
名前	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー]-[ユーザー名]*	○
パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー]-[パスワード]*	○
アクセス構成		
Redfish/WebUI Permissions		
Redfish / Web UI User	有効	×
Redfishロール	管理者	×
IPMI Privileges		
LAN Channel Privilege	OEM	×
シリアルアクセス権限	OEM	×
ユーザーアカウント変更権限	有効	×
iRMC 設定変更権限	有効	×
AVR Permissions		
ビデオリダイレクション	有効	×
リモートストレージ	有効	×
その他		
使用シェル(Textアクセス)	リモートマネージャー	×
[iRMCローカルユーザーアカウント]-[adminユーザー]		
ユーザー情報		
パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[adminユーザー]-[パスワード]*	×

クラスタ拡張時に追加するサーバのiRMCのLDAP構成

設定項目	設定値	変更可否
[ユーザー管理]-[LDAP構成] [注1]		
LDAPを有効にする	true	×
LDAP SSL接続を有効にする	false	×
ローカルユーザーでのログインを禁止する	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ローカルユーザーによるログイン]*	×
常にSSLログインを使用する	[クラスタ詳細情報]- [LDAP]タブ-[常にTLS/SSLログイン]*	×
ディレクトリサーバタイプ	Active Directory	×
ドメイン名	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ドメイン名]*	×
部署名	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[部署名]*	×
プライマリ		
LDAPサーバ	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ ホスト名またはIPアドレス]*	○
LDAPポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ ポート番号]*	○
LDAP SSLポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ TLS/SSLポート番号]*	○

設定項目	設定値	変更可否
バックアップ		
LDAPサーバ	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ ホスト名またはIP アドレス]*	○
LDAPポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ ポート番号]*	○
LDAP SSLポート	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ TLS/SSLポート番号]*	○

[注1]: クラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外した場合は設定されません。

クラスタ拡張時に追加するサーバのESXiの設定

設定項目	設定値	変更可否
OS		
VMware ESXi	インストール	—
ESXiパッチ	ISMにファイルがアップロードされていれば適用する	—
SMI-Sプロバイダ		
VMware SMIS Provider	ISMにファイルがアップロードされていれば適用する [注1] [注2] — [注1] [注3]	—
ドライバ		
ixgbenドライバ	有効 [注1]	—
[Host Client]-[管理]-[システム]-[日付と時刻]		
現在の日付と時刻	UTC (協定世界時)	—
NTPサーバ	1.[クラスタ詳細情報]-[NTP]タブ-[NTPサーバ1ホスト名またはIPアドレス]* 2.[クラスタ詳細情報]-[NTP]タブ-[NTPサーバ2ホスト名またはIPアドレス]*	—
[Host Client]-[管理]-[サービス]		
TSM	起動/停止 [注4]	—
TSM-SSH	起動/停止 [注4]	—
lwsmd	起動 [注5]	—
ntpd	起動	—
[Host Client]-[管理]-[セキュリティとユーザー]		
ユーザー名	[ノード詳細情報]-[OS]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー名]*	—
パスワード	[ノード詳細情報]-[OS]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザーのパスワード]*	—
認証 ドメインに参加 [注6]	有効	—
[Host Client]-[管理]-[ハードウェア]-[電源管理]		
アクティブなポリシー	高パフォーマンス	—
[Host Client]-[ストレージ]-[データストア]		
ローカルデータストア名のリネーム	LocalDatastore_<ホスト名> [注7]	—

設定項目	設定値	変更可否
[Host Client]-[ネットワーク]-[TCP/IPスタック]-[デフォルトのTCP/IPスタック]-[DNS設定]		
アドレス	ISMのプロファイルに指定したDNSサーバのIPアドレス [クラスタ詳細情報]-[DNS]タブ-[セカンダリDNSサーバIPアドレス]*	—
ドメインの検索	[クラスタ詳細情報]-[DNS]タブ-[ドメイン名]*	—
[Host Client]-[ネットワーク]-[ファイアウォール ルール]		
NTP Client	起動	—
[Host Client]-[ホスト]-[アクション]-[権限]-[ユーザーの追加]		
ロールの設定	Host/virtual machineに関するAdmin権限を追加	—
その他		
FQDNの設定	[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]. [クラスタ詳細情報]-[DNS]タブ-[ドメイン名]*	—
IPv6	無効	—
既存のVM Networkポートグループ	削除	—
SSL v3	有効	—
NTP分散化[注8]	[クラスタ詳細情報]-[NTP]タブ-[NTPピアとの最大間隔]*	—

[注1]:PRIMEFLEX for VMware vSANの場合に設定する設定値です。

[注2]:VMware ESXi 6.5.0.5310538の場合に設定する設定値です。

[注3]:VMware ESXi 6.5 Update 1の場合に設定する設定値です。

[注4]:クラスタ拡張の実行中は起動に設定します。

[注5]:クラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外した場合は起動されません。

[注6]:クラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外した場合は設定されません。

[注7]:datastore1からリネームされます。<ホスト名>は「ノードリスト」画面-<クラスタ拡張時に追加するノード名>-[OS]タブ-[OSからの取得情報]-[ホスト名]の値が設定されます。

[注8]:/etc/ntp.confファイルの「tos maxdist」に設定する設定値です。

PRIMERGY RXシリーズ構成の既存クラスタvCSAのクラスタ拡張時に追加するホストに対する設定

設定項目	設定値	変更可否
Virtual Standard Switch (vSS:標準仮想スイッチ)-vSwitch0(ビルトイン仮想スイッチ)		
vSwitch0	削除	×
すべてのvnic	削除	×
Management Network	削除	×
Virtual Distribution Switch (vDS:分散仮想スイッチ)-業務用仮想スイッチ		
管理トラフィック	—	—
VLANID	—	—
MTU	—	—
管理IPアドレス	—	—
サブネットマスク	—	—
フェイルバック	—	—
uplink1	—	—

設定項目		設定値	変更可否
uplink2		—	—
vmk0		—	—
Virtual Distribution Switch (vDS:分散仮想スイッチ)-管理用仮想スイッチ			
uplink1		[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink1>]-[vmnic名<vmnic0>]* [注1] [ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink1>]-[vmnic名<vmnic2>]* [注2]	×
uplink2		[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink2>]-[vmnic名<vmnic2>]* [注1] [ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink2>]-[vmnic名<vmnic4>]* [注2]	×
vmk0		[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]*	×
vmk1		[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]*	×
vmk2		[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]*	×
vSANネットワーク用IPアドレス		[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[IPv4アドレス]*	○
vSANネットワーク用サブネットマスク		[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[IPv4サブネットマスク]*	○
vMotionネットワーク用IPアドレス		[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[IPv4アドレス]*	○
vMotionネットワーク用サブネットマスク		[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[IPv4サブネットマスク]*	○
[ネットワーク]-[Distributed Switch]-[管理用仮想スイッチ]-[設定]-[システムトラフィック]-[管理トラフィック]			
	シェア	30	○
	予約	500	○
ディスク			
	ハードディスクローカルとしてマーク	true	—
	SSD キャッシュ用以外のSSDをキャパシティとしてマーク (All Flash構成時)	True [注3]	—
データセンター			
	クラスタ拡張時に追加するホストを仮想ネットワークへ追加	—	—
	クラスタ拡張時に追加するホストをデータセンターへ追加	[クラスタ基本情報]-[データセンター名]*	○
クラスタ			

設定項目	設定値	変更可否
フォールトドメインおよびストレッチクラスタ	fd_<ホスト名> [注4]	—
クラスタ拡張時に追加するノードをクラスタへ追加	選択したクラスタ名	○

[注1]: PRIMEFLEX HSの場合に設定する設定値です。

[注2]: PRIMEFLEX for VMware vSANの場合に設定する設定値です。

[注3]: 以下の条件にあてはまるSSDはキャッシュ用のSSDとして設定されます。

PRIMEFLEX HS: 容量が160~210GB、320~420GB

PRIMEFLEX for VMware vSAN: 2種類のSSDのうち、本数が少ない方(SSDの本数が同じとき、容量の小さい方)

[注4]: <ホスト名>は「ノードリスト」画面-<クラスタ拡張時に追加するノード名>-[OS]タブ-[OSからの取得情報]-[ホスト名]の値が設定されます。

PRIMERGY CXシリーズ構成の既存クラスタvCSAのクラスタ拡張時に追加するホストに対する設定

設定項目	設定値	変更可否
Virtual Standard Switch (vSS: 標準仮想スイッチ)-vSwitch0(ビルトイン仮想スイッチ)		
vSwitch0	— [注1] 削除 [注2]	×
すべてのvmnic	— [注1] 削除 [注2]	×
Management Network	— [注1] 削除 [注2]	×
Virtual Distribution Switch (vDS: 分散仮想スイッチ)-業務用仮想スイッチ		
管理トラフィック	チェック [注1] — [注2]	×
VLANID	0 [注1] — [注2]	×
MTU	1500 [注1] — [注2]	×
管理IPアドレス	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[IPv4アドレス]* [注1] — [注2]	×
サブネットマスク	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[IPv4サブネットマスク]* [注1] — [注2]	×
フェイルバック	True [注1] — [注2]	×
uplink1	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink1>]-[vmnic名<vmnic0>]* [注1] — [注2]	×
uplink2	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink2>]-[vmnic名<vmnic1>]* [注1]	×

設定項目		設定値	変更可否
		－ [注2]	
	vmk0	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]* [注1] [注3] － [注2]	×
Virtual Distribution Switch (vDS:分散仮想スイッチ)-管理用仮想スイッチ			
	uplink1	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink1>]-[vmnic名<vmnic2>]* [注1] [ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink1>]-[vmnic名<vmnic1>]* [注2]	×
	uplink2	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink2>]-[vmnic名<vmnic3>]* [注1] [ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[物理NIC<uplink2>]-[vmnic名<vmnic3>]* [注2]	×
	vmk0	－ [注1] [クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]* [注2]	×
	vmk1	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]*	×
	vmk2	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[ポートグループ名]*	×
	vSANネットワーク用IPアドレス	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[IPv4アドレス]*	○
	vSANネットワーク用サブネットマスク	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[IPv4サブネットマスク]*	○
	vMotionネットワーク用IPアドレス	[ノード詳細情報]-[vDS]タブ-[vDS]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[IPv4アドレス]*	○
	vMotionネットワーク用サブネットマスク	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[IPv4サブネットマスク]*	○
[ネットワーク]-[Distributed Switch]-[管理用仮想スイッチ]-[設定]-[システムトラフィック]-[管理トラフィック]			
	シェア	－ [注1] 30 [注2]	○
	予約	－ [注1] 500 [注2]	○
ディスク			
	ハードディスク ローカルとしてマーク	true	－
	SSD キャッシュ用以外のSSDをキャパシティとしてマーク (All Flash構成時)	True [注4]	－

設定項目	設定値	変更可否
データセンター		
クラスタ拡張時に追加するホストを仮想ネットワークへ追加	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1]-[vDS名]* [注1] - [注2]	×
クラスタ拡張時に追加するホストをデータセンターへ追加	[クラスタ基本情報]-[データセンター名]*	○
クラスタ		
フォールトドメインおよびストレッチクラスタ	fd_<ホスト名> [注5]	-
クラスタ拡張時に追加するノードをクラスタへ追加	選択したクラスタ名	○

[注1]:PRIMEFLEX HSの場合に設定する設定値です。

[注2]:PRIMEFLEX for VMware vSANの場合に設定する設定値です。

[注3]:vSSからvDSへ移行されます。

[注4]:以下の条件にあてはまるSSDはキャッシュ用のSSDとして設定されます。

PRIMEFLEX HS:容量が160~210GB、320~420GB

PRIMEFLEX for VMware vSAN:2種類のSSDのうち、本数が少ない方(SSDの本数が同じとき、容量の小さい方)

[注5]:<ホスト名>は「ノードリスト」画面-<クラスタ拡張時に追加するノード名>-[OS]タブ-[OSからの取得情報]-[ホスト名]の値が設定されます。

表2.1 vmnic名、アップリンク名の自動設定値

設定項目	設定値	
	既存クラスタにPRIMERGY CX M2シリーズを含まない場合	既存クラスタにPRIMERGY CX M2シリーズを含む場合
vmnic名	PRIMEFLEX HSの場合 <ul style="list-style-type: none"> • vDS-1(業務用分散仮想スイッチ) 業務系ポート#1:vmnic1 業務系ポート#2:vmnic3[注1] • vDS-2(管理用分散仮想スイッチ) <ul style="list-style-type: none"> - 管理用ネットワークポートグループ Active:vmnic0 Standby:vmnic2[注1] - vMotion用ネットワークポートグループ Active:vmnic0 Standby:vmnic2[注1] - vSAN用ネットワークポートグループ Active:vmnic2[注1] Standby:vmnic0 PRIMEFLEX for VMware vSANの場合[注2] [PRIMERGY RX M4シリーズ/PRIMERGY RX M5シリーズ] <ul style="list-style-type: none"> • vDS-1(業務用分散仮想スイッチ) 業務系ポート#1:vmnic1 業務系ポート#2:vmnic3[注1] 	PRIMEFLEX HSの場合 [PRIMERGY CX M2シリーズ] <ul style="list-style-type: none"> • vDS-1(管理用分散仮想スイッチ) <ul style="list-style-type: none"> - 管理用ネットワークポートグループ Active:vmnic0 Active:vmnic1 • vDS-2(管理兼業務用分散仮想スイッチ) <ul style="list-style-type: none"> - vMotion用ネットワークポートグループ Active:vmnic2 Standby:vmnic3 - vSAN用ネットワークポートグループ Active:vmnic3 Standby:vmnic2 [PRIMERGY CX M4シリーズ/PRIMERGY CX M5シリーズ] <ul style="list-style-type: none"> • vDS-1(管理用分散仮想スイッチ) <ul style="list-style-type: none"> - 管理用ネットワークポートグループ Active:vmnic1 Active:vmnic2 • vDS-2(管理兼業務用分散仮想スイッチ)

設定項目	設定値	
	既存クラスタにPRIMERGY CX M2シリーズを含まない場合	既存クラスタにPRIMERGY CX M2シリーズを含む場合
	<ul style="list-style-type: none"> • vDS-2(管理用分散仮想スイッチ) <ul style="list-style-type: none"> — 管理用ネットワークポートグループ Active:vmnic2 Standby:vmnic4[注1] — vMotion用ネットワークポートグループ Active:vmnic2 Standby:vmnic4[注1] — vSAN用ネットワークポートグループ Active:vmnic4[注1] Standby:vmnic2 <p>[PRIMERGY CX M4シリーズ/PRIMERGY CX M5シリーズ]</p> <ul style="list-style-type: none"> • vDS-1(業務用分散仮想スイッチ) <ul style="list-style-type: none"> 業務系ポート#1:vmnic2 業務系ポート#2:vmnic4[注1] • vDS-2(管理用分散仮想スイッチ) <ul style="list-style-type: none"> — 管理用ネットワークポートグループ Active:vmnic1 Standby:vmnic3 — vMotion用ネットワークポートグループ Active:vmnic1 Standby:vmnic3 — vSAN用ネットワークポートグループ Active:vmnic3 Standby:vmnic1 	<ul style="list-style-type: none"> — vMotion用ネットワークポートグループ Active:vmnic3 Standby:vmnic4 — vSAN用ネットワークポートグループ Active:vmnic3 Standby:vmnic4
アップリンク名	PRIMEFLEX HS/PRIMEFLEX for VMware vSANの場合 <ul style="list-style-type: none"> • vDS-1(業務用分散仮想スイッチ) <ul style="list-style-type: none"> 業務系ポート#1:Uplink2 業務系ポート#2:Uplink4 • vDS-2(管理用分散仮想スイッチ) <ul style="list-style-type: none"> — 管理用ネットワークポートグループ Active:Uplink1 Standby:Uplink3 — vMotion用ネットワークポートグループ Active:Uplink1 Standby:Uplink3 — vSAN用ネットワークポートグループ Active:Uplink3 Standby:Uplink1 	PRIMEFLEX HSの場合 <ul style="list-style-type: none"> • vDS-1(管理用分散仮想スイッチ) <ul style="list-style-type: none"> — 管理用ネットワークポートグループ Active:Uplink1 Active:Uplink2 • vDS-2(管理兼業務用分散仮想スイッチ) <ul style="list-style-type: none"> — vMotion用ネットワークポートグループ Active:Uplink3 Standby:Uplink4 — vSAN用ネットワークポートグループ Active:Uplink4 Standby:Uplink3

[注1]: 拡張カードを複数枚ご購入いただいた場合、2枚目の拡張カードは、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。

[注2]: PRIMEFLEX HSにPRIMERGY M4シリーズ/PRIMERGY M5シリーズを追加する場合も同様です。

2.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directの自動設定値一覧

PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directの自動設定値について説明します。

以降の表の「変更可否」列の記載は、既存クラスタの設定値をPRIMEFLEX構成の設定値から変更していた場合、クラスタ拡張の実行が可能かどうかを表しています(○:変更可、×:変更不可)。



注意

「設定値」の記載について

- 設定値のうしろに*がある設定値は、「クラスタ拡張」ウィザードで入力した値が設定されます。
- 「設定値」の一部には、値ではなく設定箇所が記載されているものがあります。実際の値については、該当の設定箇所をご確認ください。

ISM-[管理]-[ノード]-[<クラスタ拡張時に追加するノード名>]-[ノードリスト]

設定項目	設定値	変更可否
「編集」ウィザードの[通信方式]		
パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[adminユーザー]-[パスワード]*	×
[プロパティ]タブ		
Web i/f URL	https://<iRMCのIPアドレス>/	×
[OS]タブ		
アカウント	pflocaladmin	×
[ログ設定]タブ		
保有期間		
イベントログ(日間)	7	○
操作ログ(日間)	7	○
セキュリティログ(日間)	7	○
保管ログ(世代)	7	○
ログ収集ターゲット		
ハードウェアログ	有効	○
オペレーティングシステム	有効	○
スケジュール		
スケジュール実行有効化	有効	×
スケジュールタイプ	曜日指定	○
曜日	毎週	○
曜日	土	○
時間	0:00	○

ISM-[構築]-[プロファイル]-[プロファイル設定]-[<クラスタ拡張時に追加するノード名>]

設定項目	設定値	変更可否
[OS]タブ		
インストール後のスクリプト実行		

設定項目	設定値	変更可否
インストール後のスクリプト実行	有効	×
OSに転送するディレクトリ	postscript_ClusterOperation	×
実行するスクリプト	WinSvr_Setting.bat	×

クラスタ拡張時に追加するサーバのiRMC S5-[設定]-[ユーザー管理]

設定項目	設定値	変更可否
[iRMCローカルユーザーアカウント]-[管理ユーザー]		
ユーザー情報		
User Enabled	有効	×
名前	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー]-[ユーザー名]*	○
パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー]-[パスワード]*	○
アクセス構成		
Redfish/WebUI Permissions		
Redfish / Web UI User	有効	×
Redfishロール	管理者	×
IPMI Privileges		
LAN Channel Privilege	OEM	×
シリアルアクセス権限	OEM	×
ユーザーアカウント変更権限	有効	×
iRMC 設定変更権限	有効	×
AVR Permissions		
ビデオリダイレクション	有効	×
リモートストレージ	有効	×
その他		
使用シェル(Textアクセス)	リモートマネージャー	×
[iRMCローカルユーザーアカウント]-[adminユーザー]		
ユーザー情報		
パスワード	[ノード詳細情報]-[iRMC]タブ-[ローカルユーザー設定]-[adminユーザー]-[パスワード]*	×

クラスタ拡張時に追加するサーバのiRMCのLDAP構成

設定項目	設定値	変更可否
[ユーザー管理]-[LDAP構成] [注1]		
LDAPを有効にする	true	×
LDAP SSL接続を有効にする	false	×
ローカルユーザーでのログインを禁止する	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ローカルユーザーによるログイン]*	×
常にSSLログインを使用する	[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[常にTLS/SSLログイン]*	×

設定項目		設定値	変更可否
ディレクトリサーバタイプ		Active Directory	×
ドメイン名		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[ドメイン名]*	×
部署名		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[部署名]*	×
プライマリ			
LDAPサーバ		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ ホスト名またはIPアドレス]*	○
LDAPポート		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ ポート番号]*	○
LDAP SSLポート		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[プライマリ TLS/SSLポート番号]*	○
バックアップ			
LDAPサーバ		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ ホスト名またはIPアドレス]*	○
LDAPポート		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ ポート番号]*	○
LDAP SSLポート		[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブ-[バックアップ TLS/SSLポート番号]*	○

[注1]:ISM 2.4.0.b以降ではクラスタ定義パラメーターの[クラスタ詳細情報]-[LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外した場合は設定されません。

クラスタ拡張時に追加するサーバのWindows Serverの設定

設定項目		設定値	変更可否
WinRM			
ベーシック認証		true	—
サービスの有効化			
CredSSP		有効	—
CredSSP			
サーバロール		有効	—
クライアントロール		有効	—
証明書			
<ISM内のファイル>.cer		登録	—
<ISM内のファイル>.pfx		登録	—
ファイアウォール			
5986		開放	—
HTTPS			
リスナー		作成	—
Hyper-Vホスト			
MACアドレスの範囲		第1-3オクテット:ベンダID(0x00155D)固定 第4オクテット:[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]*のIPv4のIPアドレスの第3オクテット 第5オクテット:[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]*のIPv4のIPアドレスの第4オクテット 第6オクテット:0x00-0xFF	—

設定項目	設定値	変更可否
ローカルユーザーの作成		
ユーザー名	[ノード詳細情報]-[OS]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザー名]*	—
パスワード	[ノード詳細情報]-[OS]タブ-[ローカルユーザー設定]-[管理ユーザーのパスワード]*	—
機能、役割の追加		
Hyper-Vの管理ツール	インストール	—
Windows Server バックアップ	インストール	—
フェイルオーバークラスタの管理	インストール	—
仮想スイッチの作成		
仮想スイッチ名	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[業務用仮想スイッチ、または管理用仮想スイッチ]-[仮想スイッチ設定情報]-[仮想スイッチ名]* [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	×
チーミング	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[業務用仮想スイッチ、または管理用仮想スイッチ]-[仮想スイッチ設定情報]-[エンベデッドチーミング]*	—
VMネットアダプタ - ネットワーク名の設定		
ネットワーク名	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[仮想ネットワークアダプタ<管理用ネットワークアダプタ名、ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1名、またはライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2名>]-[アダプタ名]* [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	×
VMネットワークの設定 - ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワーク1		
VLANID	クラスタを構成する既設サーバのライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワーク1に設定されているVLAN ID	○
IPアドレス	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[仮想ネットワークアダプタ<ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1名>]-[IPv4アドレス]* [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	○
サブネットマスクの長さ	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[仮想ネットワークアダプタ<ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1名>]-[IPv4サブネットマスク]* [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	○
IPアドレスの種類	IPv4	×
VMネットワークの設定 - ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワーク2		
VLANID	クラスタを構成する既設サーバのライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワーク2に設定されているVLAN ID	○
IPアドレス	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[仮想ネットワークアダプタ<ライブマイグレーション、Microsoft	○

設定項目	設定値	変更可否
	Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2名>]-[IPv4アドレス]* [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	
サブネットマスクの長さ	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[管理用仮想スイッチ]-[仮想ネットワークアダプタ<ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2名>]-[IPv4サブネットマスク]* [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	○
IPアドレスの種類	IPv4	×
ネットワークの設定		
IPv6	無効	—
ネットワークの設定 - IPv4		
IPアドレス	[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]*のIPv4のIPアドレス [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	○
サブネットマスクの長さ	[ノード詳細情報]-[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]*のIPv4のサブネットマスク長 [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	○
IPアドレスの種類	IPv4	×
デフォルトゲートウェイ	ISMのプロファイルに指定したOS個別情報のネットワークのデフォルトゲートウェイ [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	○
IPアドレス	[構成ノード選択]-[対象ノードの選択]-[ノード名]*のIPv4のIPアドレス [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	○
ネットワークの設定 - 優先DNSサーバ		
DNS名	Mgmt	×
IPアドレス	ISMのプロファイルに指定したDNSサーバのIPアドレス	○
プライマリ DNS サフィックス	register=primary	—
DNSサーバ設定の検証	validate=no	—
ネットワークの設定 - 代替DNSサーバ		
DNS名	Mgmt	×
IPアドレス	[クラスタ詳細情報]-[DNS]タブ-[セカンダリDNSサーバIPアドレス]*	○
順番	index=2	—
DNSサーバ設定の検証	validate=no	—
ネットワークの設定 - 管理用ポートのVMQ		
Enable	True [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
MaxProcessors	(X - 1) / M [注1] [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
BaseProcessorNumber	(1 + ((X - 1) / M) * (N - 1)) * Y [注1]	—

設定項目	設定値	変更可否
	[ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	
MaxProcessorNumber	$((X - 1) / M) * N * Y$ [注1] [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
ネットワークの設定 - 業務用ポートのVMQ		
Enable	True [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
MaxProcessors	$(X - 1) / M$ [注1] [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
BaseProcessorNumber	$(1 + ((X - 1) / M) * (N - 1)) * Y$ [注1] [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
MaxProcessorNumber	$((X - 1) / M) * N * Y$ [注1] [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
ネットワークの設定 - LANドライバ		
VMQ	有効 [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
SR-IOV	無効 [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
QoS(業務用Port)	無効 [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—
QoS(管理用Port)	無効 [ノード詳細情報]-[仮想スイッチ]タブ-[スロット番号]*	—

[注1]: 各記号は以下の値を表しています。

X: プロセッサコア数

Y: 1コア当たりの論理プロセッサ数

M: VMQの設定を行う物理ネットワークポートの数

N: VMQの設定を行う物理ネットワークポートの連番 (1~M)

第3章 クラスタ定義パラメーターの設定値一覧

クラスタ作成機能およびクラスタ拡張機能を実行する際に使用するクラスタ定義パラメーターの設定値について説明します。

3.1 PRIMEFLEX for VMware vSANのクラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ作成機能)

PRIMEFLEX HS/PRIMEFLEX for VMware vSANのクラスタ作成機能のクラスタ定義パラメーター設定値について説明します。



- PRIMEFLEX HS/PRIMEFLEX for VMware vSANのクラスタ作成機能をご利用の場合は、以下のクラスタ定義パラメーター設定値を「クラスタ作成」ウィザードで設定してください。
- クラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートを使用した場合は、クラスタ定義パラメーターの編集でお客様環境に応じて適切に設定してください。
- PRIMERGY M5シリーズはISM 2.4.0.c以降で使用可能です。

CMS情報[注1]

設定項目	説明	設定値
種類	クラスタの種類 • VMware vSAN Cluster • Microsoft Failover Cluster	VMware vSAN Cluster
仮想化管理ソフトウェア名	仮想化管理ソフトウェア名	任意の値

[注1]: クラスタ定義パラメーターを作成する場合に設定する項目です。このパラメーターは、クラスタ定義パラメーターを編集する場合には表示されません。

クラスタ基本情報

設定項目	説明	設定値
仮想化管理ソフトウェア名[注1]	仮想化管理ソフトウェア名	[CMS情報]-[仮想化管理ソフトウェア名]で指定した設定値
種類[注1]	クラスタの種類	VMware vSAN Cluster [CMS情報]-[種類]で指定した設定値
データセンター名	クラスタが属するデータセンター名	クラスタが属するデータセンター名
クラスタ名	クラスタの名称	クラスタ作成するクラスタ名
ストレージ構成	ストレージ構成 • Hybrid • All-Flash 初期値: Hybrid	HybridまたはAll-Flash
ネットワーク構成	ネットワーク構成のタイプ • タイプI	タイプI

[注1]: このパラメーターは指定できません。

クラスタ詳細情報 - [DNS]タブ

設定項目	説明	設定値
ドメイン名	DNSのドメイン名	DNSのドメイン名
セカンダリDNSサーバIPアドレス	セカンダリDNSサーバのIPアドレス [注1]	<ul style="list-style-type: none"> お客様環境の既存AD構成時: お客様AD2のIPアドレス PRIMEFLEX HS/PRIMEFLEX for VMware vSAN専用ADVM構成時: ADVM2のIPアドレス
DNSレコード登録の設定を有効にする [注2]	<p>新規クラスタを構成するサーバのホスト(A/PTR)レコードをDNSへ自動で登録するかどうかを指定します。</p> <p>「有効」に設定した場合に自動で登録を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効 無効 <p>初期値:無効</p>	<ul style="list-style-type: none"> お客様環境の既存AD構成時、またはADなし構成時: 無効 PRIMEFLEX HS/PRIMEFLEX for VMware vSAN専用ADVM構成時: 有効
WinRMサービスポート番号 [注2]	<p>DNSサーバのWinRMサービスの通信方式とポート番号を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通信方式 <ul style="list-style-type: none"> HTTPS HTTP <p>初期値:HTTPS</p> ポート番号 <ul style="list-style-type: none"> HTTPSの場合 DNSサーバのWinRMサービス(SSL)のポート番号 本項目を指定した場合は、DNSサーバと暗号(SSL)通信します。 事前にDNSサーバにTLS/SSL通信用証明書を登録しておく必要があります。 初期値:5986 HTTPの場合 DNSサーバのWinRMサービス(non SSL)のポート番号 DNSサーバと平文で通信する場合に指定します。 初期値:5985 	<ul style="list-style-type: none"> 通信方式 HTTPSまたはHTTP ポート番号 <ul style="list-style-type: none"> HTTPSの場合:5986 HTTPの場合:5985
ユーザー名 [注2]	DNSサーバへの接続に使用するユーザー名	pfadmin
パスワード [注2][注3]	DNSサーバへの接続に使用するパスワード	pfadminのパスワード
パスワード(確認) [注2][注3]	DNSサーバへの接続に使用するパスワード(確認)	pfadminのパスワード

[注1]:プライマリDNSサーバのIPアドレスは、ISMのプロファイルに指定します。

[注2]:DNSサーバがWindows Serverの場合のみ有効です。PRIMEFLEX構成のADVM、またはお客様環境のADサーバを使用したActive Directory連携を行わない場合は、[DNSレコード登録]に「無効」を指定してください。また、[WinRMサービスポート番号]、[WinRMサービス(SSL)ポート番号]、[ユーザー名]、[パスワード]は、指定不要です。

[注3]:このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

クラスタ詳細情報 - [NTP]タブ

設定項目	説明	設定値
NTPサーバ1ホスト名またはIPアドレス	NTPサーバ1のホスト名、またはIPアドレス	NTPサーバ1のホスト名、またはIPアドレス
NTPサーバ2ホスト名またはIPアドレス	NTPサーバ2のホスト名、またはIPアドレス	NTPサーバ2のホスト名、またはIPアドレス
NTPピアとの最大間隔	NTPタイムソース選定におけるピアとの最大間隔(秒) 初期値:30(秒)	30

クラスタ詳細情報 - [LDAP]タブ [注1]

設定項目	説明	設定値
LDAP設定を有効にする	LDAPの設定を有効にするかどうかを指定します。 <input checked="" type="checkbox"/> :有効 <input type="checkbox"/> :無効 初期値:無効	任意の値
ドメイン名	LDAPサーバのドメイン名	LDAPのドメイン名
ユーザー名	LDAPサーバへの接続に使用するユーザー名	pfadmin
パスワード[注2]	LDAPサーバへの接続に使用するパスワード	pfadminのパスワード
パスワード(確認)[注2]	LDAPサーバへの接続に使用するパスワード(確認)	pfadminのパスワード
ディレクトリサーバタイプ	ディレクトリサーバのタイプ • Active Directory	Active Directory
プライマリ ホスト名またはIPアドレス	プライマリLDAPサーバのホスト名、またはIPアドレス	プライマリLDAPサーバのホスト名、またはIPアドレス
プライマリ ポート番号	プライマリLDAPサーバのLDAPサービス(non TLS/SSL)のポート番号 初期値:389	389
プライマリ TLS/SSLポート番号	プライマリLDAPサーバのLDAPサービス(TLS/SSL)のポート番号 初期値:636	636
バックアップ ホスト名またはIPアドレス	バックアップLDAPサーバのホスト名、またはIPアドレス	バックアップLDAPサーバのホスト名、またはIPアドレス
バックアップ ポート番号	バックアップLDAPサーバのLDAPサービス(non TLS/SSL)のポート番号 初期値:389	389

設定項目	説明	設定値
バックアップ TLS/SSLポート番号	バックアップLDAPサーバのLDAPサービス (TLS/SSL) のポート番号 初期値: 636	636
部署名	LDAPの部署名	PF_Dept_1
ローカルユーザーによるログイン	ローカルユーザーによるログインを有効にするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 有効 無効 初期値: 無効	有効
常にTLS/SSLログイン	常にTLS/SSLによるログインを使用するかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> する しない 初期値: しない	しない

[注1]:PRIMEFLEX構成のADVM、またはお客様環境のADサーバを使用したActive Directory連携を行わない場合は、指定不要です ([LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外してください)。

[注2]:このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

クラスタ詳細情報 - [機能]タブ

設定項目	説明	設定値
vSphere HA設定		
隔離時の応答アドレス1	隔離時の応答アドレス (IPアドレス) 1 注) 通常はクラスタを構成する1ノード目の Virtual SAN NetworkのIPアドレスを指定する	隔離時の応答アドレス1
隔離時の応答アドレス2	隔離時の応答アドレス (IPアドレス) 2 注) 通常はクラスタを構成する2ノード目の Virtual SAN NetworkのIPアドレスを指定する	隔離時の応答アドレス2
vSAN設定		
ストレージへのディスクの追加	ストレージへのディスクの追加を自動にするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 自動 手動 初期値: 自動	任意の値
デデューブおよび圧縮	デデューブおよび圧縮を有効にするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 有効 無効 初期値: 無効	任意の値

クラスタ詳細情報 - [ネットワーク]タブ

設定項目	説明	設定値
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPv4アドレス	任意の値
vSAN分散仮想スイッチ設定情報		
vDS-1およびvDS-2		
vDS名 [注1]	vDS (vSphere Distributed Switch) の名前	任意の値 <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務用分散仮想スイッチ名 ・ 管理用分散仮想スイッチ名 ※vDS設定情報リストは2つ
NIOC	NIOCを有効にするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効 初期値: 有効	vDS-1: 無効 (指定できません) vDS-2: 有効または無効
NIOC設定 (複数指定可能) [注2]		
トラフィック [注3]	システムトラフィックタイプ <ul style="list-style-type: none"> ・ 管理 ・ vSAN ・ vMotion 	管理、vSAN、vMotion
シェア	システムトラフィックタイプの相対的な優先度 1~100 初期値: 50 (管理)、70 (vMotion)、100 (vSAN)	任意の値
予約 [注4]	単一の物理アダプタ上で確保する必要がある最小バンド幅 (Mbps) 初期値: 500 (管理)、500 (vMotion)、1000 (vSAN)	任意の値
制限 [注4]	単一物理アダプタでシステムトラフィックタイプが使用できる最大バンド幅 (Mbps) 初期値: 0	任意の値
MTU	最大転送ユニット(MTU)のサイズ (バイト数) 初期値: 1500 最大値: 9000	任意の値
ポートグループ (複数指定可能)		
ポートグループ名 [注5]	vDSポートグループの名前 (ネットワークラベル)	任意の値
タイプ	vDSポートグループのタイプ <ul style="list-style-type: none"> ・ VMkernel ・ 仮想マシン 	vDS-1 <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務用仮想マシンポートグループ: 仮想マシン vDS-2 <ul style="list-style-type: none"> ・ 管理用ネットワークポートグループ: VMkernel

設定項目	説明	設定値
		<ul style="list-style-type: none"> vSAN用ネットワークポートグループ: VMkernel vMotion用ネットワークポートグループ: VMkernel 管理用仮想マシンポートグループ: 仮想マシン
ポート数	分散ポートグループのポート数 初期値: 8 最大値: 8192	任意の値
VLANタイプ	VLANのタイプ <ul style="list-style-type: none"> なし(VLANを使用しない) VLAN 初期値: VLAN	任意の値
VLAN ID	vDSポートグループで使用するVLAN ID 初期値: 設定しない	任意の値
IPv4ネットワークアドレス	VMkernelアダプタのIPv4ネットワークアドレス	任意の値
IPv4サブネットマスク	VMkernelアダプタのIPv4サブネットマスク	任意の値
トラフィック	トラフィック <ul style="list-style-type: none"> 管理 vSAN vMotion 	vDS-1 <ul style="list-style-type: none"> — vDS-2 <ul style="list-style-type: none"> 管理用ネットワークポートグループ: 管理 vSAN用ネットワークポートグループ: vSAN vMotion用ネットワークポートグループ: vMotion
アップリンク設定(複数指定可能)		
アップリンク名	アップリンクの識別名 <ul style="list-style-type: none"> Uplink 1 Uplink 2 Uplink 3 Uplink 4 	「クラスタ作成する際のvmnic名とアップリンク名の設定値」参照
フェイルオーバーの優先順序設定[注6]		
分散方法	アップリンクのワークロードの分散方法 <ul style="list-style-type: none"> アクティブ スタンバイ 	任意の値
優先順序	アップリンクの優先順序を0から始まる整数で指定します。	任意の値

[注1]: 既存クラスタと同じ[vDS名]を指定した場合、既存クラスタに設定します。既存クラスタと同じ[vDS名]はPRIMEFLEX for VMware vSANで作成したvDSを指定してください。既存クラスタと異なる[vDS名]を指定した場合、新規のvDSが作成されます。

[注2]:[NIOC]を[有効]に指定した場合、[設定]ボタンを選択すると、[トラフィック]、[シェア]、[予約]、[制限]の指定が可能です。

[注3]:このパラメーターは指定できません。

[注4]:[制限]に指定する値は、[予約]に指定した値以上を指定してください。

[注5]:既存クラスタと同じ[vDS名]の[ポートグループ名]を指定した場合、既存クラスタの[ポートグループ名]に設定します。

- 既存のvDSを使用時

既存クラスタと同じ[ポートグループ名]を指定した場合、既存vDSのポートグループが使用されます。

既存クラスタと異なる[ポートグループ名]を指定した場合、新規のポートグループが作成されます。

- 新規のvDS作成時

新規のポートグループが作成されます。既存クラスタと重複しない[ポートグループ名]を指定してください。

[注6]:[ポートグループ名]を指定した場合、[設定]ボタンを選択すると、[分散方法]、[優先順序]の指定が可能です。

クラスタ詳細情報 - [ストレージプール]タブ

設定項目	説明	設定値
ストレージプール名	vSANデータストア名	任意の値 [注1]

[注1]:既存クラスタのストレージプール名と重複しない値を指定してください。

構成ノード選択

設定項目	説明	設定値
対象ノードの選択 (複数指定可能)		
ノード名	ISMが管理するノード名から選択します。	ISMが管理するノード名 [注1]
プロファイル	ISMが管理するプロファイル名を選択します。	任意の値

[注1]:新規クラスタを構成するサーバのノード名を指定します。

ノード詳細情報 - [iRMC]タブ [注1]

設定項目	説明	設定値
ローカルユーザー設定		
adminユーザー		
パスワード[注2]	iRMCのadminユーザーに設定する新しいパスワード クラスタ作成時にISMに登録されているadminユーザーのパスワードを併せて更新します。	任意の値
パスワード(確認)[注2]	iRMCのadminユーザーに設定する新しいパスワード(確認)	任意の値
管理ユーザー		
ユーザー名	iRMCに作成する管理ユーザー名	pflocaladmin
パスワード[注2]	iRMCの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値
パスワード(確認)[注2]	iRMCの管理ユーザーに設定するパスワード(確認)	任意の値

[注1]:選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

[注2]:このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

ノード詳細情報 - [OS]タブ [注1]

設定項目	説明	設定値
ローカルユーザー設定		
管理ユーザー名	OSに作成する管理ユーザー名	任意の値 例) pflocaladmin
管理ユーザーのパスワード[注2]	OSの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値
管理ユーザーのパスワード(確認)[注2]	OSの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値(確認)

[注1]:選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

[注2]:このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

ノード詳細情報 - [vDS]タブ [注1]

設定項目	説明	設定値
vDS-1およびvDS-2		
物理NIC(複数指定可能)		
vmnic名 [注2]	物理ネットワークアダプタの名前 例) vmnic2 ※"vmnic"で始まる数字のみ指定します。	「クラスタ作成する際のvmnic名とアップリンク名の設定値」参照
アップリンク名[注3]	アップリンクの識別名 <ul style="list-style-type: none"> Uplink 1 Uplink 2 Uplink 3 Uplink 4 	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[アップリンク設定]-[アップリンク名]で指定した設定値
ポートグループ(複数指定可能)		
ポートグループ名[注3]	vDSポートグループの名前(ネットワークラベル)	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[ポートグループ]-[ポートグループ名]で指定した設定値
タイプ[注3]	vDSポートグループのタイプ <ul style="list-style-type: none"> VMkernel 仮想マシン 	vDS-1 <ul style="list-style-type: none"> 業務用仮想マシンポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1]-[ポートグループ<業務用仮想マシンポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値 vDS-2 <ul style="list-style-type: none"> 管理用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用

	設定項目	説明	設定値
			<p>ネットワークポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値</p> <ul style="list-style-type: none"> • vSAN用ネットワークポートグループ: [クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値 • vMotion用ネットワークポートグループ: [クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポート>]-[タイプ]で指定した設定値 • 管理用仮想マシンポートグループ: [クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用仮想マシンポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値
	トラフィック[注3]	<p>トラフィック</p> <ul style="list-style-type: none"> • 管理 • vSAN • vMotion 	<p>vDS-1</p> <ul style="list-style-type: none"> • - <p>vDS-2</p> <ul style="list-style-type: none"> • 管理用ネットワークポートグループ: [クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[トラフィック]で指定した設定値 • vSAN用ネットワークポートグループ: [クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[トラフィック]で指定した設定値 • vMotion用ネットワークポートグループ: [クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[トラフィック]で指定した設定値
	IPv4アドレス	VMkernelアダプタのIPv4アドレス	任意の値

[注1]: 選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

[注2]: プロファイル設定値 ([詳細]-[OS]タブの[管理LANネットワークポート設定]-[ネットワークポート指定])に指定した物理NICを先頭に指定してください。

[注3]: このパラメーターは指定できません。

クラスタ作成する際のvmnic名とアップリンク名の設定値

表3.1 PRIMEFLEX for VMware vSAN PRIMERGY CX M4シリーズ/PRIMERGY CX M5シリーズをクラスタ作成する場合

設定項目	設定値		
	物理ポート	vmnic名	アップリンク名
vDS-1(業務用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#1	vmnic2	Uplink2
	PCIカード#1	vmnic4	Uplink4
vDS-2(管理用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#0	vmnic1	Uplink1
	PCIカード#0	vmnic3	Uplink3

[注1] PRIMEFLEXのデフォルトの設定値です。

表3.2 PRIMEFLEX for VMware vSAN PRIMERGY RX M4シリーズ/PRIMERGY RX M5シリーズをクラスタ作成する場合

設定項目	設定値		
	物理ポート	vmnic名	アップリンク名
vDS-1(業務用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#1	vmnic3	Uplink2
	PCIカード#1	vmnic5[注2]	Uplink4
vDS-2(管理用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#0	vmnic2	Uplink1
	PCIカード#0	vmnic4[注2]	Uplink3

[注1] PRIMEFLEXのデフォルトの設定値です。

[注2] 拡張カードを複数枚ご購入いただいた場合、2枚目の拡張カードは、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。

注意

「クラスタ作成する際のvmnic名とアップリンク名の設定値」は、拡張カードが本製品で使用するものみの場合の設定です。対象サーバがPRIMERGY RXシリーズで、拡張カードを複数ご購入いただいた場合は、[注2]の部分はお客様の環境に応じて適切なvmnic名を設定してください。vmnicの番号は、オンボードからPCIスロットの番号の小さい順に割り振られます。

拡張カードを2枚購入し、PCIスロット2、3に搭載した場合(PCIスロット1はSASアレイコントローラーカード)、vmnicの番号は以下のように割り振られます。

表3.3 拡張カードを搭載した場合のvmnic番号の例

対象サーバ	ポートの位置	vmnic番号
PRIMERGY RX M2シリーズ	拡張オプションポート0	vmnic0
	拡張オプションポート1	vmnic1
	PCIスロット2のポート0	vmnic2
	PCIスロット2のポート1	vmnic3
	PCIスロット3のポート0	vmnic4
	PCIスロット3のポート1	vmnic5
PRIMERGY RX M4シリーズ/ PRIMERGY RX M5シリーズ	オンボードポート0	vmnic0
	オンボードポート1	vmnic1
	拡張オプションポート0	vmnic2
	拡張オプションポート1	vmnic3
	PCIスロット2のポート0	vmnic4
	PCIスロット2のポート1	vmnic5
	PCIスロット3のポート0	vmnic6

対象サーバ	ポートの位置	vmnic番号
	PCIスロット3のポート1	vmnic7

3.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directのクラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ作成機能)

PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directのクラスタ作成機能のクラスタ定義パラメーター設定値について説明します。



- PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directのクラスタ作成機能をご利用の場合は、以下のクラスタ定義パラメーター設定値を「クラスタ作成」ウィザードで設定してください。
- クラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートを使用した場合は、クラスタ定義パラメーターの編集でお客様環境に応じて適切に設定してください。

CMS情報

設定項目	説明	設定値
種類	クラスタの種類 <ul style="list-style-type: none"> VMware vSAN Cluster Microsoft Failover Cluster 	Microsoft Failover Cluster
仮想化管理ソフトウェア名[注1]	仮想化管理ソフトウェア名	任意の値
IPv4アドレス[注1]	CMSのIPv4アドレス	CMSのIPv4アドレス
ドメイン名	CMSのドメイン名	CMSのドメイン名
ユーザー名	CMSへの接続に使用するユーザー名	pfadmin
パスワード[注2]	CMSへの接続に使用するパスワード	pfadminのパスワード
パスワード(確認)[注2]	CMSへの接続に使用するパスワード(確認)	pfadminのパスワード
WinRMサービス(SSL)ポート番号[注3]	CMSのWinRMサービス(SSL)ポート番号 固定値:5986	5986

[注1]: 既存クラスタと異なる設定値を指定します。

[注2]: このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

[注3]: このパラメーターは指定できません。

クラスタ基本情報

設定項目	説明	設定値
仮想化管理ソフトウェア名[注1]	仮想化管理ソフトウェア名	任意の値
種類[注1]	クラスタの種類	Microsoft Failover Cluster
クラスタ名	クラスタの名称	クラスタ作成するクラスタ名
構成ノード数	クラスタを構成するノード数 <ul style="list-style-type: none"> 2ノード 3ノード以上 	任意の値

設定項目	説明	設定値
	初期値:3ノード以上	

[注1]:このパラメーターは指定できません。

クラスタ詳細情報-[DNS]タブ

設定項目	説明	設定値
セカンダリDNSサーバIPアドレス	セカンダリDNSサーバのIPアドレス [注1]	<ul style="list-style-type: none"> お客様環境の既存AD構成時: お客様AD2のIPアドレス PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct専用ADVM構成時: ADVM2のIPアドレス

[注1]:プライマリDNSサーバのIPアドレスは、ISMのプロファイルに指定します。

クラスタ詳細情報 - [LDAP]タブ

設定項目	説明	設定値
LDAP設定を有効にする[注1]	LDAPの設定を有効にするかどうかを指定します。 <input checked="" type="checkbox"/> :有効 <input type="checkbox"/> :無効 初期値:無効	任意の値
ドメイン名	LDAPサーバのドメイン名	LDAPのドメイン名
ユーザー名	LDAPサーバへの接続に使用するユーザー名	pfadmin
パスワード[注2]	LDAPサーバへの接続に使用するパスワード	LDAPサーバへの接続に使用するパスワード (pfadminのパスワード)
パスワード(確認)[注2]	LDAPサーバへの接続に使用するパスワード(確認)	LDAPサーバへの接続に使用するパスワード (pfadminのパスワード)
ディレクトリサーバタイプ	ディレクトリサーバのタイプ <ul style="list-style-type: none"> Active Directory 	Active Directory
プライマリ ホスト名またはIPアドレス	プライマリLDAPサーバのホスト名、またはIPアドレス	プライマリLDAPサーバのホスト名、またはIPアドレス
プライマリ ポート番号	プライマリLDAPサーバのLDAPサービス (non TLS/SSL) のポート番号 初期値:389	389
プライマリ TLS/SSLポート番号	プライマリLDAPサーバのLDAPサービス (TLS/SSL) のポート番号 初期値:636	636
バックアップ ホスト名またはIPアドレス	バックアップLDAPサーバのホスト名、またはIPアドレス	バックアップLDAPサーバのホスト名、またはIPアドレス
バックアップ ポート番号	バックアップLDAPサーバのLDAPサービス (non TLS/SSL) のポート番号 初期値:389	389

設定項目	説明	設定値
バックアップ TLS/SSLポート番号	バックアップLDAPサーバのLDAPサービス (TLS/SSL) のポート番号 初期値: 636	636
部署名	LDAPの部署名	PF_Dept_1
ローカルユーザーによるログイン	ローカルユーザーによるログインを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値: 無効	有効
常にTLS/SSLログイン	常にTLS/SSLによるログインを使用するかどうかを指定します。 ・ する ・ しない 初期値: しない	しない

[注1]:このパラメーターはISM 2.4.0.b以降で設定する設定値です。

[注2]:このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

クラスタ詳細情報 - [ネットワーク]タブ

設定項目	説明	設定値
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPv4アドレス	任意の値
業務用仮想スイッチ		
仮想スイッチ名	仮想スイッチの名前	業務用仮想スイッチ名
エンベデッドチーミング	エンベデッドチーミングを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値: 有効	有効
管理用仮想スイッチ (複数指定可能)		
仮想スイッチ名	仮想スイッチの名前	管理用仮想スイッチ名
エンベデッドチーミング	エンベデッドチーミングを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値: 有効	有効
ネットワーク名[注1]	仮想ネットワークの名前	以下の3つ ・ ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1名

設定項目	説明	設定値
		<ul style="list-style-type: none"> ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2名 管理用ネットワークアダプタ名
Role設定	Roleに設定する値 <ul style="list-style-type: none"> クラスタネットワーク通信を許可しない クラスタネットワーク通信のみ許可 クラスタネットワーク通信とクライアント間の接続を許可 初期値: 管理用ネットワークアダプタの場合: <ul style="list-style-type: none"> クラスタネットワーク通信とクライアント間の接続を許可 ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1とライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2の場合: <ul style="list-style-type: none"> クラスタネットワーク通信のみ許可 	任意の値
VLANタイプ	VLANのタイプ <ul style="list-style-type: none"> なし(VLANを使用しない) VLAN 初期値:VLAN	任意の値
VLAN ID	クラスタネットワークで使用するVLAN ID 初期値:設定しない	任意の値
IPv4ネットワークアドレス	クラスタネットワークのIPv4ネットワークアドレス	任意の値
IPv4サブネットマスク	クラスタネットワークのIPv4サブネットマスク	任意の値

[注1]:ISM 2.4.0.c以降ではこのパラメーターは指定した順にライブマイグレーション用ネットワークの優先順序を設定します。

クラスタ詳細情報 - [ストレージプール]タブ

設定項目	説明	設定値
ジャーナル設定		
メディアタイプ	ジャーナルに使用するディスクのメディアタイプ <ul style="list-style-type: none"> SSD 	SSD
バスタイプ	ジャーナルに使用するディスクのバスタイプ <ul style="list-style-type: none"> SAS 	SAS
ストレージティア設定		
ストレージティア名	ストレージティアのフレンドリーネーム	任意の値
メディアタイプ	ストレージティアのメディアタイプ	HDD

設定項目	説明	設定値
	<ul style="list-style-type: none"> • HDD 	
回復性	回復性(割当て方法)の種類 <ul style="list-style-type: none"> • 双方向/3方向ミラー記憶域 	双方向/3方向ミラー記憶域
冗長性	ディスクの冗長性 <ul style="list-style-type: none"> • 2ノード • 3ノード以上 初期値:[クラスタ基本情報]-[構成ノード数]で指定したノード数	2ノードまたは3ノード以上
データコピー数	データコピー数 <ul style="list-style-type: none"> • 双方向ミラー • 3方向ミラー 初期値: 冗長性が2ノードの場合: <ul style="list-style-type: none"> • 双方向ミラー 冗長性が3ノード以上の場合: <ul style="list-style-type: none"> • 3方向ミラー 	双方向ミラーまたは3方向ミラー

構成ノード選択

設定項目	説明	設定値
対象ノードの選択(複数指定可能)[注1]		
ノード名	ISMが管理ノード名から選択します。	ISMが管理するノード名 [注2]
プロファイル	ISMが管理するプロファイル名から選択します。	任意の値

[注1]:[クラスタ基本情報]-[構成ノード数]で指定したノード数に合わせて指定します。

[注2]:新規クラスタを構成するサーバとなるノード名を指定します。

ノード詳細情報 - [iRMC]タブ [注1]

設定項目	説明	設定値
ローカルユーザー設定		
adminユーザー		
パスワード[注2]	iRMCのadminユーザーに設定する新しいパスワード クラスタ作成時にISMに登録されているadminユーザーのパスワードを併せて更新します。	任意の値
パスワード(確認)[注2]	iRMCのadminユーザーに設定する新しいパスワード(確認)	任意の値
管理ユーザー		
ユーザー名	iRMCに作成する管理ユーザー名	pflocaladmin
パスワード[注2]	iRMCの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値

設定項目	説明	設定値
パスワード(確認)[注2]	iRMCの管理ユーザーに設定するパスワード(確認)	任意の値

[注1]: 選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

[注2]: このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

ノード詳細情報 - [OS]タブ [注1]

設定項目	説明	設定値
ローカルユーザー設定		
管理ユーザー名	OSに作成する管理ユーザー名	任意の値 例) pflocaladmin
管理ユーザーのパスワード[注2]	OSの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値
管理ユーザーのパスワード(確認)[注2]	OSの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値(確認)

[注1]: 選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

[注2]: このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

ノード詳細情報 - [仮想スイッチ]タブ [注1]

設定項目	説明	設定値
スロット番号設定		
スロット番号(複数指定可能)	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号 例) 2	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号
業務用仮想スイッチ		
仮想スイッチ設定情報		
仮想スイッチ名	仮想スイッチの名前	業務用仮想スイッチ名
スロット番号-ポート番号(複数指定可能)	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号とポート番号 例) 2-1	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号とポート番号 ※スロット番号は[スロット番号設定]-[スロット番号]で指定した設定値、ポート番号は「1」
エンベデッドチーミング	エンベデッドチーミングを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値: 有効	有効
管理用仮想スイッチ		
仮想スイッチ設定情報		
仮想スイッチ名	仮想スイッチの名前	管理用仮想スイッチ名

設定項目	説明	設定値
スロット番号-ポート番号(複数指定可能)	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号とポート番号 例)2-0	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号とポート番号 ※スロット番号は[スロット番号設定]-[スロット番号]で指定した設定値、ポート番号は「0」
エンベデッドチーミング	エンベデッドチーミングを有効にするかどうかを指定します。 ・有効 ・無効 初期値:有効	有効
仮想ネットワークアダプタ(複数指定可能)		
アダプタ名	仮想ネットワークアダプタの名前	以下の3つ ・ 管理用ネットワークアダプタ名 ・ ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1名 ・ ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2名
管理OS	管理OS用の仮想ネットワークアダプタかどうかを指定します。 ・ はい ・ いいえ 初期値:はい	以下を指定 ・ 管理用ネットワークアダプタ:はい ・ ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1:はい ・ ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2:はい
IPv4アドレス	IPv4アドレス	任意の値
物理ネットワークアダプタ(複数指定可能)		
スロット番号	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号 例)2	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号
仮想マシんキュー	仮想マシんキューを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値:有効	PCIアダプタ:有効
SR/IOV	SR/IOVを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効	PCIアダプタ:無効

設定項目	説明	設定値
	初期値:無効	
vRSS	vRSSを有効にするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 有効 無効 初期値:有効	PCIアダプタ:有効

[注1]: 選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

3.3 PRIMEFLEX HS/PRIMEFLEX for VMware vSANのクラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ拡張機能)

PRIMEFLEX HS/PRIMEFLEX for VMware vSANのクラスタ拡張機能のクラスタ定義パラメーター設定値について説明します。



- PRIMEFLEX HS/PRIMEFLEX for VMware vSANのクラスタ拡張機能をご利用の場合は、以下のクラスタ定義パラメーター設定値を「クラスタ拡張」ウィザードで設定してください。
- クラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートを使用した場合は、クラスタ定義パラメーターの編集でお客様環境に応じて適切に設定してください。
- PRIMERGY M5シリーズはISM 2.4.0.c以降で使用可能です。

PRIMERGY RXシリーズ構成のクラスタ基本情報 [注1]

設定項目	説明	設定値
仮想化管理ソフトウェア名[注2]	仮想化管理ソフトウェア名	任意の値
種類[注2]	クラスタの種類	VMware vSAN Cluster
データセンター名	クラスタが属するデータセンター名	クラスタが属するデータセンター名
クラスタ名 [注2]	クラスタの名称	クラスタ拡張するクラスタ名
ストレージ構成	ストレージ構成 <ul style="list-style-type: none"> Hybrid All-Flash 初期値:Hybrid	HybridまたはAll-Flash
ネットワーク構成 [注3]	ネットワーク構成のタイプ <ul style="list-style-type: none"> タイプI タイプII 初期値:タイプI	タイプI

[注1]: クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

[注2]: このパラメーターは指定できません。

[注3]: クラスタ定義パラメーターを作成する場合に設定する項目です。このパラメーターは、クラスタ定義パラメーターを編集する場合には表示されません。

PRIMERGY CXシリーズ構成のクラスタ基本情報 [注1]

設定項目	説明	設定値
仮想化管理ソフトウェア名[注2]	仮想化管理ソフトウェア名	任意の値
種類[注2]	クラスタの種類	VMware vSAN Cluster
データセンター名	クラスタが属するデータセンター名	クラスタが属するデータセンター名
クラスタ名 [注2]	クラスタの名称	クラスタ拡張するクラスタ名
ストレージ構成	ストレージ構成 <ul style="list-style-type: none"> Hybrid All-Flash 初期値: Hybrid	HybridまたはAll-Flash [注4] Hybrid [注5]
ネットワーク構成 [注3]	ネットワーク構成のタイプ <ul style="list-style-type: none"> タイプI タイプII 初期値: タイプI	タイプI [注4] タイプII [注5]

[注1]: クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

[注2]: このパラメーターは指定できません。

[注3]: クラスタ定義パラメーターを作成する場合に設定する項目です。このパラメーターは、クラスタ定義パラメーターを編集する場合には表示されません。

[注4]: PRIMERGY CX M4シリーズ/PRIMERGY CX M5シリーズの場合に指定します。

[注5]: PRIMERGY CX M2シリーズの場合に指定します。

クラスタ詳細情報 - [DNS]タブ [注1]

設定項目	説明	設定値
ドメイン名	DNSのドメイン名	DNSのドメイン名
セカンダリDNSサーバIPアドレス	セカンダリDNSサーバのIPアドレス [注2]	<ul style="list-style-type: none"> お客様環境の既存AD構成時: お客様AD2のIPアドレス PRIMEFLEX HS/PRIMEFLEX for VMware vSAN専用ADVM構成時: ADVM2のIPアドレス
DNSレコード登録の設定を有効にする [注3]	クラスタ拡張時に追加するサーバのホスト(A/PTR)レコードをDNSへ自動で登録するかどうかを指定します。 「有効」に設定した場合に自動で登録を行います。 <ul style="list-style-type: none"> 有効 無効 初期値: 無効	<ul style="list-style-type: none"> お客様環境の既存AD構成時、またはADなし構成時: 無効 PRIMEFLEX HS/PRIMEFLEX for VMware vSAN専用ADVM構成時: 有効
WinRMサービスポート番号 [注3]	DNSサーバのWinRMサービスの通信方式とポート番号を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 通信方式 <ul style="list-style-type: none"> HTTPS HTTP 初期値: HTTPS	<ul style="list-style-type: none"> 通信方式 HTTPSまたはHTTP ポート番号 <ul style="list-style-type: none"> HTTPSの場合: 5986 HTTPの場合: 5985

設定項目	説明	設定値
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポート番号 <ul style="list-style-type: none"> － HTTPSの場合 DNS サーバの WinRM サービス (SSL) のポート番号 本項目を指定した場合は、DNS サーバと暗号 (SSL) 通信します。 事前に DNS サーバに TLS/SSL 通信用証明書を登録しておく必要があります。 初期値: 5986 － HTTPの場合 DNS サーバの WinRM サービス (non SSL) のポート番号 DNS サーバと平文で通信する場合に指定します。 初期値: 5985 	
ユーザー名 [注3]	DNSサーバへの接続に使用するユーザー名	pfadmin
パスワード [注3][注4]	DNSサーバへの接続に使用するパスワード	pfadminのパスワード
パスワード(確認) [注3][注4]	DNSサーバへの接続に使用するパスワード(確認)	pfadminのパスワード

[注1]: クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

[注2]: プライマリDNSサーバのIPアドレスは、ISMのプロファイルに指定します。

[注3]: DNSサーバがWindows Serverの場合のみ有効です。PRIMEFLEX構成のADVM、またはお客様環境のADサーバを使用したActive Directory連携を行わない場合は、[DNSレコード登録]に「無効」を指定してください。また、[WinRMサービスポート番号]、[WinRMサービス(SSL)ポート番号]、[ユーザー名]、[パスワード]は、指定不要です。

[注4]: このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

クラスタ詳細情報 - [NTP]タブ[注1]

設定項目	説明	設定値
NTPサーバ1ホスト名またはIPアドレス	NTPサーバ1のホスト名、またはIPアドレス	NTPサーバ1のホスト名、またはIPアドレス
NTPサーバ2ホスト名またはIPアドレス	NTPサーバ2のホスト名、またはIPアドレス	NTPサーバ2のホスト名、またはIPアドレス
NTPピアとの最大間隔	NTPタイムソース選定におけるピアとの最大間隔(秒) 初期値: 30(秒)	30

[注1]: クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

クラスタ詳細情報 - [LDAP]タブ [注1] [注2]

設定項目	説明	設定値
LDAP設定を有効にする	LDAPの設定を有効にするかどうかを指定します。 <input checked="" type="checkbox"/> : 有効 <input type="checkbox"/> : 無効	任意の値

設定項目	説明	設定値
	初期値:無効	
ドメイン名	LDAPサーバのドメイン名	LDAPのドメイン名
ユーザー名	LDAPサーバへの接続に使用するユーザー名	pfadmin
パスワード[注3]	LDAPサーバへの接続に使用するパスワード	pfadminのパスワード
パスワード(確認)[注3]	LDAPサーバへの接続に使用するパスワード(確認)	pfadminのパスワード
ディレクトリサーバタイプ	ディレクトリサーバのタイプ ・ Active Directory	Active Directory
プライマリ ホスト名またはIPアドレス	プライマリLDAPサーバのホスト名、またはIPアドレス	プライマリLDAPサーバのホスト名、またはIPアドレス
プライマリ ポート番号	プライマリLDAPサーバのLDAPサービス(non TLS/SSL)のポート番号 初期値:389	389
プライマリ TLS/SSLポート番号	プライマリLDAPサーバのLDAPサービス(TLS/SSL)のポート番号 初期値:636	636
バックアップ ホスト名またはIPアドレス	バックアップLDAPサーバのホスト名、またはIPアドレス	バックアップLDAPサーバのホスト名、またはIPアドレス
バックアップ ポート番号	バックアップLDAPサーバのLDAPサービス(non TLS/SSL)のポート番号 初期値:389	389
バックアップ TLS/SSLポート番号	バックアップLDAPサーバのLDAPサービス(TLS/SSL)のポート番号 初期値:636	636
部署名	LDAPの部署名	PF_Dept_1
ローカルユーザーによるログイン	ローカルユーザーによるログインを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値:無効	有効
常にTLS/SSLログイン	常にTLS/SSLによるログインを使用するかどうかを指定します。 ・ する ・ しない 初期値:しない	しない

[注1]: クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

[注2]: PRIMEFLEX構成のADVM、またはお客様環境のADサーバを使用したActive Directory連携を行わない場合は、指定不要です([LDAP]タブの[LDAP設定を有効にする]のチェックを外してください)。

[注3]: このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

クラスタ詳細情報 - [機能]タブ[注1]

設定項目	説明	設定値
vSphere HA設定		
隔離時の応答アドレス1	隔離時の応答アドレス (IPアドレス) 1 注) 通常はクラスタを構成する1ノード目のVirtual SAN NetworkのIPアドレスを指定します。	隔離時の応答アドレス1
隔離時の応答アドレス2	隔離時の応答アドレス (IPアドレス) 2 注) 通常はクラスタを構成する2ノード目のVirtual SAN NetworkのIPアドレスを指定します。	隔離時の応答アドレス2
vSAN設定		
ストレージへのディスクの追加	ストレージへのディスクの追加を自動にするかどうかを指定します。 ・ 自動 ・ 手動 初期値: 自動	任意の値
デデューブおよび圧縮	デデューブおよび圧縮を有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値: 無効	任意の値

[注1]: クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

クラスタ詳細情報 - [ネットワーク]タブ[注1]

設定項目	説明	設定値
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPv4アドレス	任意の値
vSAN分散仮想スイッチ設定情報		
vDS-1およびvDS-2		
vDS名[注2]	vDS (vSphere Distributed Switch) の名前	任意の値 ・ 業務用分散仮想スイッチ名 ・ 管理用分散仮想スイッチ名 ※vDS設定情報リストは2つ
NIOC	NIOCを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値: 有効	vDS-1: 無効 (指定できません) vDS-2: 有効または無効
NIOC設定 (複数指定可能)[注3]		
トラフィック[注4]	システムトラフィックタイプ ・ 管理 ・ vSAN	管理、vSAN、vMotion

設定項目	説明	設定値
	<ul style="list-style-type: none"> vMotion 	
シェア	システムトラフィックタイプの相対的な優先度 1～100 初期値:50(管理)、70(vMotion)、100(vSAN)	任意の値
予約[注5]	単一の物理アダプタ上で確保する必要のある最小バンド幅 (Mbps) 初期値:500(管理)、500(vMotion)、1000(vSAN)	任意の値
制限[注5]	単一物理アダプタでシステムトラフィックタイプが使用できる最大バンド幅 (Mbps) 初期値:0	任意の値
MTU	最大転送ユニット(MTU)のサイズ(バイト数) 初期値:1500 最大値:9000	任意の値
ポートグループ(複数指定可能)		
ポートグループ名 [注6]	vDSポートグループの名前(ネットワークラベル)	任意の値
タイプ	vDSポートグループのタイプ <ul style="list-style-type: none"> VMkernel 仮想マシン 	ネットワーク構成:タイプI <ul style="list-style-type: none"> vDS-1 <ul style="list-style-type: none"> 業務用仮想マシンポートグループ:仮想マシン vDS-2 <ul style="list-style-type: none"> 管理用ネットワークポートグループ:VMkernel vSAN用ネットワークポートグループ:VMkernel vMotion用ネットワークポートグループ:VMkernel 管理用仮想マシンポートグループ:仮想マシン ネットワーク構成:タイプII <ul style="list-style-type: none"> vDS-1 <ul style="list-style-type: none"> 管理用ネットワークポートグループ:VMkernel 業務用仮想マシンポートグループ:仮想マシン vDS-2 <ul style="list-style-type: none"> vSAN用ネットワークポートグループ:VMkernel vMotion用ネットワークポートグループ:VMkernel

設定項目	説明	設定値
		<ul style="list-style-type: none"> 管理用仮想マシンポートグループ:仮想マシン
ポート数	分散ポートグループのポート数 初期値:8 最大値:8192	任意の値
VLANタイプ	VLANのタイプ <ul style="list-style-type: none"> なし(VLANを使用しない) VLAN 初期値:VLAN	任意の値
VLAN ID	vDSポートグループで使用するVLAN ID。 初期値:設定しない	任意の値
IPv4ネットワークアドレス	VMkernelアダプタのIPv4ネットワークアドレス	任意の値
IPv4サブネットマスク	VMkernelアダプタのIPv4サブネットマスク	任意の値
トラフィック [注7]	トラフィック <ul style="list-style-type: none"> 管理 vSAN vMotion 	ネットワーク構成:タイプI <ul style="list-style-type: none"> vDS-1 — — vDS-2 管理用ネットワークポートグループ:管理 vSAN用ネットワークポートグループ:vSAN vMotion用ネットワークポートグループ:vMotion ネットワーク構成:タイプII <ul style="list-style-type: none"> vDS-1 管理用ネットワークポートグループ:管理 vDS-2 vSAN用ネットワークポートグループ:vSAN vMotion用ネットワークポートグループ:vMotion
アップリンク設定(複数指定可能)		
アップリンク名	アップリンクの識別名 <ul style="list-style-type: none"> Uplink 1 Uplink 2 Uplink 3 Uplink 4 	「クラスタ拡張する際のvmnic名とアップリンク名の設定値」参照
フェイルオーバーの優先順序設定[注8]		

設定項目				説明	設定値
			分散方法	アップリンクのワークロードの分散方法 ・ アクティブ ・ スタンバイ	任意の値
			優先順序	アップリンクの優先順序を0から始まる整数で指定します。	任意の値

[注1]: クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

[注2]: vDS名は、お客様環境に応じて適切なvDS名を指定してください。

[注3]: [設定]ボタンを選択すると、[トラフィック]、[シェア]、[予約]、[制限]の指定が可能です。

[注4]: このパラメーターは指定できません。

[注5]: [制限]に指定する値は、[予約]に指定した値以上を指定してください。

[注6]: vDSのポートグループ名は、お客様環境に応じて適切なポートグループ名を指定してください。

[注7]: vDSポートグループのタイプが「VMkernel」の場合のみ有効です。

[注8]: [ポートグループ名]を指定した場合、[設定]ボタンを選択すると、[分散方法]、[優先順序]の指定が可能です。

クラスタ詳細情報 - [ストレージプール]タブ[注1]

設定項目		説明	設定値
ストレージプール名		vSANデータストア名	任意の値

[注1]: クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

構成ノード選択

設定項目		説明	設定値
対象ノードの選択 (複数指定可能)			
	ノード名	ISMが管理するノード名から選択します。	ISMが管理するノード名 [注1]
	プロファイル	ISMが管理するプロファイル名から選択します。	任意の値

[注1]: クラスタ拡張時は、クラスタ拡張時に追加するサーバとなるノード名を指定します。

ノード詳細情報 - [iRMC]タブ [注1]

設定項目		説明	設定値
ローカルユーザー設定			
adminユーザー			
	パスワード[注2]	iRMCのadminユーザーに設定する新しいパスワード クラスタ拡張時にISMに登録されているadminユーザーのパスワードを併せて更新します。	任意の値
	パスワード(確認)[注2]	iRMCのadminユーザーに設定する新しいパスワード(確認)	任意の値
管理ユーザー			
	ユーザー名	iRMCに作成する管理ユーザー名	pflocaladmin

設定項目	説明	設定値
パスワード[注2]	iRMCの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値
パスワード(確認)[注2]	iRMCの管理ユーザーに設定するパスワード(確認)	任意の値

[注1]: 選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

[注2]: このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

ノード詳細情報 - [OS]タブ [注1]

設定項目	説明	設定値
ローカルユーザー設定		
管理ユーザー名	OSに作成する管理ユーザー名	任意の値 例) pflocaladmin
管理ユーザーのパスワード[注2]	OSの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値
管理ユーザーのパスワード(確認)[注2]	OSの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値(確認)

[注1]: 選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

[注2]: このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

ノード詳細情報 - [vDS]タブ [注1]

設定項目	説明	設定値
vDS-1およびvDS-2		
物理NIC(複数指定可能)		
vmnic名	物理ネットワークアダプタの名前 例) vmnic2 ※"vmnic"で始まる数字のみ指定します。	「クラスタ拡張する際のvmnic名とアップリンク名の設定値」参照
アップリンク名[注2]	アップリンクの識別名 • Uplink 1 • Uplink 2 • Uplink 3 • Uplink 4	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[アップリンク設定]-[アップリンク名]で指定した設定値
ポートグループ(複数指定可能)		
ポートグループ名[注2]	vDSポートグループの名前(ネットワークラベル)	[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1またはvDS-2]-[ポートグループ]-[ポートグループ名]で指定した設定値
タイプ[注2]	vDSポートグループのタイプ • VMkernel • 仮想マシン	ネットワーク構成:タイプI • vDS-1 — 業務用仮想マシンポートグループ: [クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ

設定項目	説明	設定値
		<p>設定情報]-[vDS-1]-[ポートグループ<業務用仮想マシンポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値</p> <ul style="list-style-type: none"> • vDS-2 <ul style="list-style-type: none"> － 管理用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値 － vSAN用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値 － vMotion用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポート>]-[タイプ]で指定した設定値 － 管理用仮想マシンポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用仮想マシンポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値 <p>ネットワーク構成:タイプII</p> <ul style="list-style-type: none"> • vDS-1 <ul style="list-style-type: none"> － 管理用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値 － 業務用仮想マシンポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-1]-[ポートグループ<業務用仮想マシンポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値 • vDS-2

設定項目	説明	設定値
		<ul style="list-style-type: none"> － vSAN用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値 － vMotion用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポート>]-[タイプ]で指定した設定値 － 管理用仮想マシンポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用仮想マシンポートグループ>]-[タイプ]で指定した設定値
トラフィック[注2]	トラフィック <ul style="list-style-type: none"> ・ 管理 ・ vSAN ・ vMotion 	ネットワーク構成:タイプI <ul style="list-style-type: none"> ・ vDS-1 － ー ・ vDS-2 － 管理用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<管理用ネットワークポートグループ>]-[トラフィック]で指定した設定値 － vSAN用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vSAN用ネットワークポートグループ>]-[トラフィック]で指定した設定値 － vMotion用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワーク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポートグループ<vMotion用ネットワークポートグループ>]-[トラフィック]で指定した設定値 ネットワーク構成:タイプII <ul style="list-style-type: none"> ・ vDS-1 － 管理用ネットワークポートグループ:[クラスタ詳細情報]-[ネットワー

設定項目	説明	設定値
		ク]タブ-[vSAN分散仮想スイッチ 設定情報]-[vDS-1]-[ポート グループ<管理用ネットワークポ ートグループ>]-[トラフィック]で指定 した設定値 ・ vDS-2 - vSAN用ネットワークポートグル ープ:[クラスタ詳細情報]-[ネット ワーク]タブ-[vSAN分散仮想ス イッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポ ートグループ<vSAN用ネットワ ークポートグループ>]-[トラフ ィック]で指定した設定値 - vMotion用ネットワークポート グループ:[クラスタ詳細情報]-[ネ ットワーク]タブ-[vSAN分散 スイッチ設定情報]-[vDS-2]-[ポ ートグループ<vMotion用ネット ワークポートグループ>]-[トラフ ィック]で指定した設定値
IPv4アドレス	VMkernelアダプタのIPv4アドレス	任意の値

[注1]: 選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

[注2]: このパラメーターは指定できません。

クラスタ拡張する際のvmnic名とアップリンク名の設定値

表3.4 PRIMEFLEX HS PRIMERGY CX M2シリーズにPRIMERGY CX M2シリーズを追加する場合

設定項目	設定値		
	物理ポート	vmnic名	アップリンク名
vDS-1 (管理用分散仮想ス イッチ[注1])	拡張オプション#0	vmnic0	Uplink1
	拡張オプション#1	vmnic1	Uplink2
vDS-2 (管理兼業務用分散 仮想スイッチ[注1])	PCIカード#0	vmnic2	Uplink3
	PCIカード#1	vmnic3	Uplink4

[注1]: PRIMEFLEXの初期値です。

表3.5 PRIMEFLEX HS PRIMERGY RX M2シリーズにPRIMERGY RX M2シリーズを追加する場合

設定項目	設定値		
	物理ポート	vmnic名	アップリンク名
vDS-1 (業務用分散仮想ス イッチ[注1])	拡張オプション#1	vmnic1	Uplink2
	PCIカード#1	vmnic3[注2]	Uplink4
vDS-2 (管理用分散仮想ス イッチ[注1])	拡張オプション#0	vmnic0	Uplink1
	PCIカード#0	vmnic2[注2]	Uplink3

[注1]: PRIMEFLEXの初期値です。

[注2]: 拡張カードを複数枚ご購入いただいた場合、2枚目の拡張カードは、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。

表3.6 PRIMEFLEX HS PRIMERGY CX M2シリーズにPRIMERGY CX M4シリーズ／PRIMERGY CX M5シリーズを追加する場合

設定項目	設定値		
	物理ポート	vmnic名	アップリンク名
vDS-1(管理用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#0	vmnic1	Uplink1
	拡張オプション#1	vmnic2	Uplink2
vDS-2(管理兼業務用分散仮想スイッチ[注1])	PCIカード#0	vmnic3	Uplink3
	PCIカード#1	vmnic4	Uplink4

[注1]:PRIMEFLEXの初期値です。

表3.7 PRIMEFLEX HS PRIMERGY RX M2シリーズにPRIMERGY RX M4シリーズ／PRIMERGY RX M5シリーズを追加する場合

設定項目	設定値		
	物理ポート	vmnic名	アップリンク名
vDS-1(業務用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#1	vmnic3	Uplink2
	PCIカード#1	vmnic5[注2]	Uplink4
vDS-2(管理用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#0	vmnic2	Uplink1
	PCIカード#0	vmnic4[注2]	Uplink3

[注1]:PRIMEFLEXの初期値です。

[注2]:拡張カードを複数枚ご購入いただいた場合、2枚目の拡張カードは、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。

表3.8 PRIMEFLEX for VMware vSAN PRIMERGY CX M4シリーズにPRIMERGY CX M4シリーズ／PRIMERGY CX M5シリーズを追加する場合

設定項目	設定値		
	物理ポート	vmnic名	アップリンク名
vDS-1(業務用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#1	vmnic2	Uplink2
	PCIカード#1	vmnic4	Uplink4
vDS-2(管理用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#0	vmnic1	Uplink1
	PCIカード#0	vmnic3	Uplink3

[注1]:PRIMEFLEXの初期値です。

表3.9 PRIMEFLEX for VMware vSAN PRIMERGY RX M4シリーズにPRIMERGY RX M4シリーズ／PRIMERGY RX M5シリーズを追加する場合

設定項目	設定値		
	物理ポート	vmnic名	アップリンク名
vDS-1(業務用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#1	vmnic3	Uplink2
	PCIカード#1	vmnic5[注2]	Uplink4
vDS-2(管理用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#0	vmnic2	Uplink1
	PCIカード#0	vmnic4[注2]	Uplink3

[注1]:PRIMEFLEXの初期値です。

[注2]:拡張カードを複数枚ご購入いただいた場合、2枚目の拡張カードは、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。

表3.10 PRIMEFLEX for VMware vSAN PRIMERGY CX M5シリーズにPRIMERGY CX M5シリーズを追加する場合

設定項目	設定値		
	物理ポート	vmnic名	アップリンク名
vDS-1(業務用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#1	vmnic2	Uplink2
	PCIカード#1	vmnic4	Uplink4
vDS-2(管理用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#0	vmnic1	Uplink1
	PCIカード#0	vmnic3	Uplink3

[注1]:PRIMEFLEXの初期値です。

表3.11 PRIMEFLEX for VMware vSAN PRIMERGY RX M5シリーズにPRIMERGY RX M5シリーズを追加する場合

設定項目	設定値		
	物理ポート	vmnic名	アップリンク名
vDS-1(業務用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#1	vmnic3	Uplink2
	PCIカード#1	vmnic5[注2]	Uplink4
vDS-2(管理用分散仮想スイッチ[注1])	拡張オプション#0	vmnic2	Uplink1
	PCIカード#0	vmnic4[注2]	Uplink3

[注1]:PRIMEFLEXの初期値です。

[注2]:拡張カードを複数枚ご購入いただいた場合、2枚目の拡張カードは、お客様環境に応じて適切なvmnic名を入力してください。

注意

「クラスタ拡張する際のvmnic名とアップリンク名の設定値」は、拡張カードが本製品で使用するものみの場合の設定です。対象サーバがPRIMERGY RXシリーズで、拡張カードを複数ご購入いただいた場合は、[注2]の部分はお客様の環境に応じて適切なvmnic名を設定してください。vmnicの番号は、オンボードからPCIスロットの番号の小さい順に割り振られます。

拡張カードを2枚購入し、PCIスロット2、3に搭載した場合(PCIスロット1はSASアレイコントローラーカード)、vmnicの番号は以下のように割り振られます。

表3.12 拡張カードを搭載した場合のvmnic番号の例

対象サーバ	ポートの位置	vmnic番号
PRIMERGY RX M2シリーズ	拡張オプションポート0	vmnic0
	拡張オプションポート1	vmnic1
	PCIスロット2のポート0	vmnic2
	PCIスロット2のポート1	vmnic3
	PCIスロット3のポート0	vmnic4
	PCIスロット3のポート1	vmnic5
PRIMERGY RX M4シリーズ/ PRIMERGY RX M5シリーズ	オンボードポート0	vmnic0
	オンボードポート1	vmnic1
	拡張オプションポート0	vmnic2
	拡張オプションポート1	vmnic3
	PCIスロット2のポート0	vmnic4
	PCIスロット2のポート1	vmnic5
	PCIスロット3のポート0	vmnic6
	PCIスロット3のポート1	vmnic7

3.4 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directのクラスタ定義パラメーター設定値一覧(クラスタ拡張機能)

PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directのクラスタ拡張機能のクラスタ定義パラメーター設定値について説明します。



- PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directのクラスタ拡張機能をご利用の場合は、以下のクラスタ定義パラメーター設定値を「クラスタ拡張」ウィザードで設定してください。
- クラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートを使用した場合は、クラスタ定義パラメーターの編集でお客様環境に応じて適切に設定してください。

クラスタ基本情報 [注1]

設定項目	説明	設定値
仮想化管理ソフトウェア名[注2]	仮想化管理ソフトウェア名	任意の値
種類[注2]	クラスタの種類	Microsoft Failover Cluster
クラスタ名[注2]	クラスタの名称	クラスタ拡張するクラスタ名

[注1]:クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

[注2]:このパラメーターは指定できません。

クラスタ詳細情報-[DNS]タブ[注1]

設定項目	説明	設定値
セカンダリDNSサーバIPアドレス	セカンダリDNSサーバのIPアドレス [注2]	<ul style="list-style-type: none"> お客様環境の既存AD構成時: お客様AD2のIPアドレス PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Direct専用ADVM構成時: ADVM2のIPアドレス

[注1]:クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

[注2]:プライマリDNSサーバのIPアドレスは、ISMのプロファイルに指定します。

クラスタ詳細情報 - [LDAP]タブ[注1]

設定項目	説明	設定値
LDAP設定を有効にする[注2]	LDAPの設定を有効にするかどうかを指定します。 <input checked="" type="checkbox"/> :有効 <input type="checkbox"/> :無効 初期値:無効	任意の値
ドメイン名	LDAPサーバのドメイン名	LDAPのドメイン名
ユーザー名	LDAPサーバへの接続に使用するユーザー名	pfadmin
パスワード[注3]	LDAPサーバへの接続に使用するパスワード	pfadminのパスワード

設定項目	説明	設定値
パスワード(確認)[注3]	LDAPサーバへの接続に使用するパスワード(確認)	pfadminのパスワード
ディレクトリサーバタイプ	ディレクトリサーバのタイプ ・ Active Directory	Active Directory
プライマリ ホスト名またはIPアドレス	プライマリLDAPサーバのホスト名、またはIPアドレス	プライマリLDAPサーバのホスト名、またはIPアドレス
プライマリ ポート番号	プライマリLDAPサーバのLDAPサービス(non TLS/SSL)のポート番号 初期値:389	389
プライマリ TLS/SSLポート番号	プライマリLDAPサーバのLDAPサービス(TLS/SSL)のポート番号 初期値:636	636
バックアップ ホスト名またはIPアドレス	バックアップLDAPサーバのホスト名、またはIPアドレス	バックアップLDAPサーバのホスト名、またはIPアドレス
バックアップ ポート番号	バックアップLDAPサーバのLDAPサービス(non TLS/SSL)のポート番号 初期値:389	389
バックアップ TLS/SSLポート番号	バックアップLDAPサーバのLDAPサービス(TLS/SSL)のポート番号 初期値:636	636
部署名	LDAPの部署名	PF_Dept_1
ローカルユーザーによるログイン	ローカルユーザーによるログインを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値:無効	有効
常にTLS/SSLログイン	常にTLS/SSLによるログインを使用するかどうかを指定します。 ・ する ・ しない 初期値:しない	しない

[注1]: クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

[注2]: このパラメーターはISM 2.4.0.b以降で設定する設定値です。

[注3]: このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

クラスタ詳細情報 - [ネットワーク]タブ[注1]

設定項目	説明	設定値
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPv4アドレス	任意の値
業務用仮想スイッチ(複数指定可能)		
仮想スイッチ名	仮想スイッチの名前	業務用仮想スイッチ名

設定項目	説明	設定値
エンベデッドチーミング	エンベデッドチーミングを有効にするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 有効 無効 初期値: 有効	有効
管理用仮想スイッチ		
仮想スイッチ名	仮想スイッチの名前	管理用仮想スイッチ名
エンベデッドチーミング	エンベデッドチーミングを有効にするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 有効 無効 初期値: 有効	有効
ネットワーク名	仮想ネットワークの名前	以下の3つ <ul style="list-style-type: none"> ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1名 ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2名 管理用ネットワークアダプタ名
Role設定	Roleに設定する値 <ul style="list-style-type: none"> クラスタネットワーク通信を許可しない クラスタネットワーク通信のみ許可 クラスタネットワーク通信とクライアント間の接続を許可 初期値: 管理用ネットワークアダプタの場合: <ul style="list-style-type: none"> クラスタネットワーク通信とクライアント間の接続を許可 ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1とライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2の場合: <ul style="list-style-type: none"> クラスタネットワーク通信のみ許可 	任意の値
VLANタイプ	VLANのタイプ <ul style="list-style-type: none"> なし(VLANを使用しない) VLAN 初期値: VLAN	任意の値
VLAN ID	クラスタネットワークで使用するVLAN ID 初期値: 設定しない	任意の値

設定項目	説明	設定値
IPv4ネットワークアドレス	クラスタネットワークのIPv4ネットワークアドレス	任意の値
IPv4サブネットマスク	クラスタネットワークのIPv4サブネットマスク	任意の値

[注1]: クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

クラスタ詳細情報 - [ストレージプール]タブ[注1]

設定項目	説明	設定値
ジャーナル設定		
メディアタイプ	ジャーナルに使用するディスクのメディアタイプ <ul style="list-style-type: none"> SSD 	SSD
バスタイプ	ジャーナルに使用するディスクのバスタイプ <ul style="list-style-type: none"> SAS 	SAS
ストレージティア設定		
ストレージティア名	ストレージティアのフレンドリーネーム	任意の値
メディアタイプ	ストレージティアのメディアタイプ <ul style="list-style-type: none"> HDD 	HDD
回復性	回復性(割当て方法)の種類 <ul style="list-style-type: none"> 双方向/3方向ミラー記憶域 	双方向/3方向ミラー記憶域
冗長性	ディスクの冗長性 <ul style="list-style-type: none"> 2ノード 3ノード以上 初期値:[クラスタ基本情報]-[構成ノード数]で指定したノード数	2ノードまたは3ノード以上
データコピー数	データコピー数 <ul style="list-style-type: none"> 双方向ミラー 3方向ミラー 初期値: 冗長性が2ノードの場合: <ul style="list-style-type: none"> 双方向ミラー 冗長性が3ノード以上の場合の場合: <ul style="list-style-type: none"> 3方向ミラー 	双方向ミラーまたは3方向ミラー

[注1]: クラスタ定義パラメーターの作成と編集を行う場合に設定する項目です。

構成ノード選択

設定項目	説明	設定値
対象ノードの選択(複数指定可能)		
ノード名	ISMが管理するノード名から選択します。	ISMが管理するノード名 [注1]

設定項目	説明	設定値
プロファイル	ISMが管理するプロファイル名から選択します。	任意の値

[注1]: クラスタ拡張時は、クラスタ拡張時に追加するサーバとなるノード名を指定します。

ノード詳細情報 - [iRMC]タブ [注1]

設定項目	説明	設定値
ローカルユーザー設定		
adminユーザー		
パスワード[注2]	iRMCのadminユーザーに設定する新しいパスワード クラスタ拡張時にISMに登録されているadminユーザーのパスワードを併せて更新します。	任意の値
パスワード(確認)[注2]	iRMCのadminユーザーに設定する新しいパスワード(確認)	任意の値
管理ユーザー		
ユーザー名	iRMCに作成する管理ユーザー名	pflocaladmin
パスワード[注2]	iRMCの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値
パスワード(確認)[注2]	iRMCの管理ユーザーに設定するパスワード(確認)	任意の値

[注1]: 選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

[注2]: このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

ノード詳細情報 - [OS]タブ [注1]

設定項目	説明	設定値
ローカルユーザー設定		
管理ユーザー名	OSに作成する管理ユーザー名	任意の値 例) pflocaladmin
管理ユーザーのパスワード[注2]	OSの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値
管理ユーザーのパスワード(確認)[注2]	OSの管理ユーザーに設定するパスワード	任意の値(確認)

[注1]: 選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

[注2]: このパラメーターはクラスタ定義パラメーターのエクスポート/インポートに含まれません。クラスタ定義パラメーターの編集で設定が必要な項目です。

ノード詳細情報 - [仮想スイッチ]タブ [注1]

設定項目	説明	設定値
スロット番号設定		
スロット番号(複数指定可能)	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号

設定項目	説明	設定値
	例)2	
業務用仮想スイッチ		
仮想スイッチ設定情報		
仮想スイッチ名	仮想スイッチの名前	業務用仮想スイッチ名
スロット番号-ポート番号(複数指定可能)	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号とポート番号 例)2-1	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号ポート番号 ※スロット番号は[スロット番号設定]-[スロット番号]で指定した設定値、ポート番号は「1」
エンベデッドチーミング	エンベデッドチーミングを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値:有効	有効
管理用仮想スイッチ		
仮想スイッチ設定情報		
仮想スイッチ名	仮想スイッチの名前	管理用仮想スイッチ名
スロット番号-ポート番号(複数指定可能)	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号とポート番号 例)2-0	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号とポート番号 ※スロット番号は[スロット番号設定]-[スロット番号]で指定した設定値、ポート番号は「0」
エンベデッドチーミング	エンベデッドチーミングを有効にするかどうかを指定します。 ・ 有効 ・ 無効 初期値:有効	有効
仮想ネットワークアダプタ(複数指定可能)		
アダプタ名[注2]	仮想ネットワークアダプタの名前	以下の3つ ・ 管理用ネットワークアダプタ名 ・ ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1名 ・ ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2名
管理OS	管理OS用の仮想ネットワークアダプタかどうかを指定します。 ・ はい ・ いいえ 初期値:はい	以下を指定 ・ 管理用ネットワークアダプタ:はい ・ ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ1:はい

設定項目		説明	設定値
			<ul style="list-style-type: none"> ライブマイグレーション、Microsoft Storage Spaces Direct用ネットワークアダプタ2:はい
	IPv4アドレス[注3]	IPv4アドレス	任意の値
物理ネットワークアダプタ(複数指定可能)			
スロット番号	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号 例)2	仮想スイッチにバインドする物理ネットワークアダプタが挿入されているPCIスロット番号	
仮想マシンキュー	仮想マシンキューを有効にするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 有効 無効 初期値:有効	PCIアダプタ:有効	
SR/IOV	SR/IOVを有効にするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 有効 無効 初期値:無効	PCIアダプタ:無効	
vRSS	vRSSを有効にするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 有効 無効 初期値:有効	PCIアダプタ:有効	

[注1]: 選択したクラスタを構成するノードごとに指定します。

[注2]: クラスタを構成する既存サーバに指定した名称の仮想ネットワークアダプタが存在しない場合、クラスタ拡張機能はエラー終了します。

[注3]: クラスタを構成する既存サーバにおける同名の仮想ネットワークアダプタと同じサブネットのIPアドレスを指定します。

第4章 プロファイルの設定値一覧

プロファイルの設定値について説明します。

4.1 PRIMEFLEX HS/PRIMEFLEX for VMware vSANのプロファイル設定値一覧

PRIMEFLEX HS/PRIMEFLEX for VMware vSANのプロファイル設定値について説明します。

注意

- PRIMEFLEX HS/PRIMEFLEX for VMware vSANのプロファイル設定値は、以下の設定値をプロファイルに設定してください。下記に記載のない設定値は、設定不要です。
- 以下のポリシーで設定する設定項目については、各ポリシーに設定してください。
 - － BIOSポリシー
 - － iRMCポリシー
 - － OSポリシー (ISM 2.4.0.c以降)

基本情報

設定項目	設定値
所属グループパス	/ProfileGroup/Administrator 前方一致
プロファイル名	<任意のプロファイル名>
カテゴリー	<対象サーバのモデルを選択>
BIOSポリシー	<参照するBIOSのポリシー>
iRMCポリシー	<参照するiRMCのポリシー>
OSタイプ	<インストールするOSのタイプをリストから選択>
OSポリシー[注1]	<参照するOSのポリシー>
説明	<任意の説明>

[注1]: OSポリシーはISM 2.4.0.c以降で指定します。

PRIMEFLEX HSの詳細 - [BIOS]タブ

設定項目	設定値
CPU Configuration	
Execute Disable Bit	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled
Hyper-Threading	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled
Intel Virtualization Technology	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled
Intel(R) Vt-d	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled
Power Technology	<input checked="" type="checkbox"/> : Customize
Enhanced Speed Step	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled

設定項目		設定値
	Turbo Mode	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled
Memory Configuration		
	DDR Performance	<input checked="" type="checkbox"/> : Performance optimized
	NUMA	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled
Onboard Device Configuration		
	Onboard SAS/SATA (SCU)	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled
	SAS/SATA OpROM	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled
	SAS/SATA Driver	<input checked="" type="checkbox"/> : LSI MegaRAID
Option ROM Configuration (サーバ上に存在しないスロット番号は対象外としてください。)		
	Launch Slot 1 OpROM	[注1]
	Launch Slot 2 OpROM	[注1]
	Launch Slot 3 OpROM	[注1]
	Launch Slot 4 OpROM	[注1]
	Launch Slot 5 OpROM	[注1]
	Launch Slot 6 OpROM	[注1]
	Launch Slot 7 OpROM	[注1]
	Launch Slot 8 OpROM	[注1]
	Launch Slot 9 OpROM	[注1]
	Launch Slot 10 OpROM	[注1]
	Launch Slot 11 OpROM	[注1]
	Launch Slot 12 OpROM	[注1]
CSM Configuration		
	Launch CSM	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled
	Boot Option Filter	<input checked="" type="checkbox"/> : Legacy only
	Launch Pxe OpRomPolicy	<input checked="" type="checkbox"/> : Legacy only
	Launch Storage OpRomPolicy	<input checked="" type="checkbox"/> : Legacy only
	Other PCI Device Rom Priority	<input checked="" type="checkbox"/> : Legacy only

[注1]: Ethernetアダプタが搭載されているSlotに対しては、「 : Enabled」を指定します。それ以外のSlotに対しては、「 :-」を指定します。

PRIMEFLEX for VMware vSANの詳細 - [BIOS]タブ

設定項目		設定値
CPU Configuration		
	Hyper-Threading	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled
	Intel Virtualization Technology	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled

設定項目		設定値
	Intel(R) Vt-d	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled
Memory Configuration		
	NUMA	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled
	DDR Performance	<input checked="" type="checkbox"/> : Performance optimized
Onboard Device Configuration		
	Onboard SAS/SATA (SCU)	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled
	SAS/SATA OpROM	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled
	SAS/SATA Driver	<input checked="" type="checkbox"/> : LSI MegaRAID
CSM Configuration		
	Launch CSM	<input checked="" type="checkbox"/> : Disabled

詳細 - [iRMC]タブ

設定項目		設定値
iRMC GUI		
	デフォルト言語	<input checked="" type="checkbox"/> : <任意のデフォルト言語>
電源制御		
	POSTエラー時の動作	<input checked="" type="checkbox"/> : 起動継続
	電源復旧時動作設定	<input checked="" type="checkbox"/> : 電源断前の状態に戻す
	電力制御	<input checked="" type="checkbox"/> : OSによるコントロール
ファンテスト		
	ファン確認時刻	<input checked="" type="checkbox"/> : 23:00
	ファンテスト無効化	<input checked="" type="checkbox"/> : <input type="checkbox"/>
ソフトウェアウォッチドッグ		
	ソフトウェアウォッチドッグ	<input checked="" type="checkbox"/> : 無効
	動作	<input checked="" type="checkbox"/> : 継続稼働
	タイムアウト時間	<input checked="" type="checkbox"/> : 5分
Bootウォッチドッグ		
	Bootウォッチドッグ	<input checked="" type="checkbox"/> : 無効
	動作	<input checked="" type="checkbox"/> : 継続稼働
	タイムアウト時間	<input checked="" type="checkbox"/> : 100分
時刻		
	タイムモード	<input checked="" type="checkbox"/> : システムRTC
	RTCモード	<input checked="" type="checkbox"/> : UTC

設定項目		設定値
	タイムゾーン	<input checked="" type="checkbox"/> : <任意のタイムゾーン>
ポート番号とネットワークサービス設定		
	Telnet有効	<input checked="" type="checkbox"/> : 有効
	Telnetポート(初期値:3173)	<input checked="" type="checkbox"/> : 3172
	SSH有効	<input checked="" type="checkbox"/> : 有効
	SSHポート(初期値:22)	<input checked="" type="checkbox"/> : 22
SNMP一般設定		
	SNMP有効	<input checked="" type="checkbox"/> : 有効
	SNMPポート(初期値:161)	<input checked="" type="checkbox"/> : 161
	SNMPサービスプロトコル	<input checked="" type="checkbox"/> : 全て(SNMPv1/v2c/v3)
	SNMPv1/v2cコミュニティ名	<input checked="" type="checkbox"/> : <任意のコミュニティ名>
SNMPトラップ送信先		
	SNMPトラップコミュニティ	<input checked="" type="checkbox"/> : <任意のコミュニティ名>
	送信先SNMPサーバ1	<input checked="" type="checkbox"/> : <送信先SNMPサーバ1のIPアドレス>
	プロトコル	<input checked="" type="checkbox"/> : <プロトコルをリストから選択>

詳細 - [OS]タブ

設定項目		設定値
インストール指定		
	インストールメディア	<インストールするOSのメディアをリストから選択>
	ServerView Suite DVD	<任意選択>
管理LANネットワークポート設定		
	ネットワークポート指定	<input type="checkbox"/> [注1] <input checked="" type="checkbox"/> [注2]
	指定方法	MACアドレス [注2]
	MACアドレス	任意のMACアドレス [注2]
RAIDとディスクの構成		
	RAIDとディスクの設定	
	アレイコントローラを使用しない	<input checked="" type="checkbox"/> : <任意選択>
基本設定		
	キーボード	<任意のキーボード>
ネットワーク		
	使用するVLAN ID	0
インストール後のスクリプト実行 [注3]		
	インストール後のスクリプト実行	<input checked="" type="checkbox"/>

設定項目		設定値
	スクリプト格納ディレクトリ	kickstart
	実行するスクリプト	ESXi_Setting.sh

[注1]:PRIMEFLEX HSの場合に設定する設定値です。

[注2]:PRIMEFLEX for VMware vSANの場合に設定する設定値です。

[注3]:この設定項目はクラスタ作成機能、およびクラスタ拡張機能が自動で設定します。手動では設定しない(チェックを付けない)でください。

詳細 - [OS個別情報]タブ

設定項目		設定値
ライセンス合意		<input checked="" type="checkbox"/>
インストールメディアタイプ		<任意のインストールメディアタイプ>
Rootパスワード		<任意のRootパスワード>
Rootパスワード(確認)		<任意のRootパスワード>
ネットワーク		
DHCP		
	有効	<input type="checkbox"/>
	IPアドレス	<任意のIPアドレス>
	サブネットマスク	<任意のサブネットマスク>
	デフォルトゲートウェイ	<任意のデフォルトゲートウェイ>
	DNSサーバ	<input checked="" type="checkbox"/> : <任意のDNSサーバのIPアドレス>
	コンピュータ名をDNSサーバから取得	<input type="checkbox"/>
	コンピュータ名	<任意のコンピュータ名>

4.2 PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directのプロファイル設定値一覧

PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directのプロファイル設定値について説明します。



- PRIMEFLEX for Microsoft Storage Spaces Directのプロファイル設定値は、以下の設定値をプロファイルに設定してください。下に記載のない設定値は、設定不要です。
- 以下のポリシーで設定する設定項目については、各ポリシーに設定してください。
 - BIOSポリシー
 - iRMCポリシー
 - OSポリシー (ISM 2.4.0.c以降)

基本情報

設定項目	設定値
所属グループパス	/ProfileGroup/Administrator
プロファイル名	<任意のプロファイル名>
カテゴリー	<対象サーバのモデルを選択>
BIOSポリシー	<参照するBIOSのポリシー>
iRMCポリシー	<参照するiRMCのポリシー>
OSタイプ	<インストールするOSのタイプをリストから選択>
OSポリシー[注1]	<参照するOSのポリシー>
説明	<任意の説明>

[注1]: OSポリシーはISM 2.4.0.c以降で指定します。

詳細 - [BIOS]タブ

設定項目	設定値
CPU Configuration	
Hyper-Threading	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled
Intel Virtualization Technology	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled
Intel(R) Vt-d	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled
Memory Configuration	
NUMA	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled
Onboard Device Configuration	
Onboard SAS/SATA (SCU)	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled
SAS/SATA OpROM	<input checked="" type="checkbox"/> : Enabled
SAS/SATA Driver	<input checked="" type="checkbox"/> : LSI MegaRAID
CSM Configuration	
Launch CSM	<input checked="" type="checkbox"/> : Disabled

詳細 - [iRMC]タブ

設定項目	設定値
iRMC GUI	
デフォルト言語	<input checked="" type="checkbox"/> : <任意デフォルト言語>
電源制御	
POSTエラー時の動作	<input checked="" type="checkbox"/> : 起動継続
電源復旧時動作設定	<input checked="" type="checkbox"/> : 電源断前の状態に戻す
電力制御	<input checked="" type="checkbox"/> : OSによるコントロール
ファンテスト	
ファン確認時刻	<input checked="" type="checkbox"/> : 23:00

設定項目		設定値
	ファンテスト無効化	<input checked="" type="checkbox"/> : <input checked="" type="checkbox"/>
ソフトウェアウォッチドッグ		
	ソフトウェアウォッチドッグ	<input checked="" type="checkbox"/> : 有効
	動作	<input checked="" type="checkbox"/> : 継続稼働
	タイムアウト時間	<input checked="" type="checkbox"/> : 5分
時刻		
	タイムモード	<input checked="" type="checkbox"/> : システムRTC
	RTCモード	<input checked="" type="checkbox"/> : ローカルタイム
	タイムゾーン	<input checked="" type="checkbox"/> : <任意のタイムゾーン>
ポート番号とネットワークサービス設定		
	Telnet有効	<input checked="" type="checkbox"/> : 有効
	Telnetポート(初期値:3173)	<input checked="" type="checkbox"/> : 3172
	SSH有効	<input checked="" type="checkbox"/> : 有効
	SSHポート(初期値:22)	<input checked="" type="checkbox"/> : 22
SNMP一般設定		
	SNMP有効	<input checked="" type="checkbox"/> : 有効
	SNMPポート(初期値:161)	<input checked="" type="checkbox"/> : 161
	SNMPサービスプロトコル	<input checked="" type="checkbox"/> : 全て(SNMPv1/v2c/v3)
	SNMPv1/v2cコミュニティ名	<input checked="" type="checkbox"/> : <任意のコミュニティ名>
SNMPトラップ送信先		
	SNMPトラップコミュニティ	<input checked="" type="checkbox"/> : <任意のコミュニティ名>
	送信先SNMPサーバ1	<input checked="" type="checkbox"/> : <ISM-VAのIPアドレス>
	プロトコル	<input checked="" type="checkbox"/> : SNMPv1

詳細 - [OS]タブ

設定項目		設定値
インストール指定		
	インストールのタイプ	フルインストール
	インストールメディア	<インストールするOSのメディアをリストから選択>
	ServerViewSuiteDVD	<任意選択>
管理LANネットワークポート設定		
	ネットワークポート指定	<input checked="" type="checkbox"/>
	指定方法	ポート番号
	ネットワークカード	PCIカード: <任意のスロット番号>

設定項目		設定値
	ポート番号	0
RAIDとディスクの構成		
	アレイコントローラを使用する	<input checked="" type="checkbox"/> :既存アレイ構成を使用する
ボリューム1		
	ボリュームラベル	system
	ファイルシステム	NTFS
	パーティションサイズ(自動/指定)	自動
	クイックフォーマット	する
	利用形態	Boot,OS
基本設定		
	タイムゾーン	<任意のタイムゾーン>
	地域と言語	<任意の地域と言語>
	キーボード	<任意のキーボード>
システム設定		
	画面解像度[px]	1024x768
	リフレッシュレート[Hz]	75
	画面の色数[bit]	24
役割と機能の追加		
	SNMPサービスのインストール	インストールする
	SNMPトラップ設定	
	コミュニティ名	fis
	トラップ送信先	<任意のIPアドレス>
	認証トラップの送信	送信する
	SNMPパケットの受付	デフォルトのホストからSNMPパケットを受け付ける (LocalHost)
	サービス	<input checked="" type="checkbox"/> :アプリケーション <input checked="" type="checkbox"/> :End-To-End <input checked="" type="checkbox"/> :イーサネット
	リモートデスクトップ	<input checked="" type="checkbox"/> :有効
	追加アプリケーション	<input checked="" type="checkbox"/> :Java Runtime Environment [注1] <input checked="" type="checkbox"/> :ソフトウェアサポートガイド <input checked="" type="checkbox"/> :ServerViewRAIDManager
インストール後のスクリプト実行 [注2]		
	インストール後のスクリプト実行	<input checked="" type="checkbox"/>
	OSに転送するディレクトリ	postscript_ClusterOperation
	実行するスクリプト	WinSvr_Setting.bat

[注1]:SVIM V13.18.12以降を使用する場合は、Javaのインストールができません。チェックを外してください。

[注2]:この設定項目はクラスタ作成機能、およびクラスタ拡張機能が自動で設定します。手動では設定しない(チェックを付けない)でください。

詳細 - [OS個別情報]タブ

設定項目		設定値
インストールメディアタイプ		※[OS]-[インストール指定]-[インストールメディア]と同じものが自動で表示される
ユーザー名		PRIMEFLEX
組織		FUJITSU
コンピュータ名		<任意のコンピュータ名>
Administratorパスワード		<任意のパスワード>
Administratorパスワード(確認)		<任意のパスワード>
ワークグループ/ドメイン		
	ワークグループ/ドメイン名	<既存の参加するドメイン>
	ドメインユーザー名	<既存の参加するドメインのユーザー>
	ドメインパスワード	<既存の参加するドメインのユーザーのパスワード>
	ドメインパスワード(確認)	<既存の参加するドメインのユーザーのパスワード>
ネットワーク- DHCP		
	有効	<input type="checkbox"/>
	IPアドレス	<任意のIPアドレス>
	サブネットマスク	<任意のサブネットマスク>
	デフォルトゲートウェイ	<任意のデフォルトゲートウェイ>
	DNSサーバ1	<input checked="" type="checkbox"/> : <任意のDNSサーバのIPアドレス>
	DNSドメイン名	<input checked="" type="checkbox"/> : <DNSのドメイン名>